



Cafitesse Excellence Touch

オペレーターマニュアル



EXCELLENCE TOUCH - 2023

Copyright 2023 © JACOBS DOUWE EGBERTS, オランダ
オペレーターマニュアルの原本は英語版となっています。
英語以外のマニュアルは、この原本を翻訳したものとなっています。

製造元：
EVOCA SpA
Via Roma 24
24030 Valbrembo
(BG)
イタリア

目次

1 - はじめに	4
このマシンについて	4
重要	4
本マニュアルに使用されているマーク	4
2 - 安全に作業するために	5
安全のための注意事項	5
搬送と保管	6
据付け	6
食品の安全に関する指針 (HACCP)	8
教育	8
3 - 外観図	9
マシンの外観図	9
操作パネル外観図	10
ステータスバー	11
4 - 使用方法	12
製品パッケージをセットする	12
製品パッケージが空になったら	12
カップ/ポットをセットする	13
ドリンクを入れる	13
マシンの電源を切る	18
マシンの電源を入れる	18
各設定とその説明	19
5 - クリーニング	20
外観のクリーニング	20
クリーニング方法	20
マシンクリーニングのタイミング	21
洗浄	21
トータル洗浄	23

6 - プログラミング	26
はじめに	26
オペレーターメニューにアクセスする	26
プログラミングホームメニュー	27
数を入力する	29
毎日の作業 (メニュー 1)	30
ドリンクの設定 (メニュー 2)	31
マシンの設定 (メニュー 3)	36
ドリンクのカウンター/統計データ	
(メニュー 4)	40
省エネ (メニュー 5)	43
支払いシステム (メニュー 6)	45
システム (メニュー 8)	45
7 - 支払いシステム	46
はじめに	46
さまざまな支払い機能	46
価格 (メニュー 6)	47
支払いシステムの通信プロトコル (メニュー 7)	49
8 - トラブルシューティング	55
9 - 仕様	58
付録 A - 世界の電源プラグリスト	60

1 - はじめに

このマシンについて

この度は、Cafitesse Excellence Touch をお選びいただき、誠にありがとうございます。

この Cafitesse Excellence Touch は、食品の分野で活躍するプロフェッショナル向けに、ホットコーヒーやアイスコーヒー*、コーヒーやカカオ（オプション）をベースとしたスペシャルドリンク、熱湯を入れるために設計されたハイクオリティーマシンです。

本マニュアルには、その使用方法と安全に関するすべての情報が記載されています。最高の性能と食品の安全およびHACCPに関する規格を遵守するため、本マニュアルに記載されている方法に従い、マシンを使用、管理してください。

ご質問のある方は、お手数をおかけしますが、Cafitesse システムの販売店までお問い合わせください。

重要

本マシンは、訓練を受けたスタッフの目の届く場所に設置するようにしてください。

マシンの使用と補給とクリーニングを実行できるのは、訓練と許可を受けたスタッフのみとなっています。新しいスタッフが加わった場合は、必ず、マシンを使用する前に、本マニュアルを読み、安全と衛生面に関する内容を確実に把握する必要があります。

製造元および JACOBS DOUWE EGBERTS は、本マニュアルに記載されているマシンの意図しない使用、または手順を守らなかったことに起因する損害や損傷については一切の責任を負いません。

本マニュアルに使用されているマーク

本マニュアルでは、重要な情報や注意が必要な内容を強調するため、次のマークが使用されています。安全を保障し、人的損傷や本製品への損害を回避するためにも、これらの情報をしっかり守ってください。



注記:

マシンの使用時に便利な情報を提供しています。



注意:

危険な行為に対する警告を記載しています。食品に安全を確保し、重度の怪我を防ぎ、さらに本マシンを破損しないためにも、これらの指示に従ってください。



危険:

これらの指示に従わないと重度の怪我または死亡事故を招く可能性のある状況を示しています。



警告:

これらの指示に従わないと切迫した重度の怪我または死亡事故を招く可能性のある状況を示しています。

2 - 安全に作業するために

安全のための注意事項

本マシンは、身体的または心理的能力に制限のある、または不適切な人 (子供を含む) による使用を意図していません。安全を守るためにも、これらに該当する人は、本マシンを使用する権限を有する人による監視と指示が必要です。

 **警告:**
手やコードやプラグが濡れている時は、絶対に電源プラグを触らないでください。

 **危険:**
本マシン付近では、監視のない状態で子供を遊ばせないでください。

 **危険:**
本マシンの電源コードが破損している場合は、本マシンの電源を落とし、システムの販売店に交換を問い合わせてください。

 **危険:**
本マシンで抽出したドリンクは高温となっています! やけどを回避するため、ドリンクの抽出中や洗浄中 (マシנקリーニング) の抽出ホイント付近に手や体の一部を近づけないでください。

 **危険:**
本マシンの上に、熱湯の入ったカップやホット、容器などを置かないでください。

 **危険:**
カップやホット、容器などが落ちて、やけどする危険があります。

 **危険:**
熱湯が噴出した場合すぐに離れることができるように、マシン周辺は十分な空間を確保してください。

 **危険:**
小さなお子様があやまってドリンクを抽出しないように、本マシンは高さ 60 cm (24 インチ) 以上の高さのあるテーブルまたはカウンターに置いてください。

 **注意:**
本マシンのドリフトレイは定期的に確認し、中の液体を廃棄してください。ドリフトレイから熱湯が溢れると、やけどや床が濡れる (滑る危険) があります。

 **危険:**
販売機には必ず純正部品を使用してください。

 **危険:**
本マシンを接地せずに使用すると感電する危険があります。

搬送と保管

本マシンの搬送と保管には、必ずオリジナルの梱包材を使用してください。本マシンを搬送または保管する前に、次の作業を行ってください。

- ドリンクバッグを冷蔵庫に入れてください。
- 本マシンをきれいにしてください。
- 訓練と認可を受けた技術者がボイラーから水を抜き、霜による損害から本マシンを保護するため、Cafitesse システムの販売店に連絡してください。

 **注意:**
使用、保管、搬送時に、このマシンを寒さにさらさないでください。

据付け

本マシンの据付け、配置換え、修理、プログラミングを実行できるのは、訓練と認可を受けた技術者のみとなっています。Cafitesse システムの販売店が、次の据付け方法に従い、本製品の据付けを行います。

- 本マシンは屋内への据付けを前提に設計されています。テーブルやカウンターなど、その重量を支えることのできる、平らで安定した場所に置いてください。直射日光や霜、雨から本マシンを保護してください。
- 本マシンの換気を考慮して、周辺に十分なスペースが確保されているか、本マシンでの作業のため、その前後にアクセスすることができるか確認してください。

- 水用ホースは新しいものを使用し、水道への接続は、規格 EN61770 に従ってください。古いホースや摩耗の進んだホースの使用は禁じられています。
- 本マシンは、ご使用の地域の規制に従って、水道に接続する必要があります。アイスドリンクをご使用の場合、その地域の規制に従い、安全なアイスドリンクを抽出するため、水質の点検が必要です。
- 本マシンに水や飛沫、スチーム、熱、埃が付着しないように保護してください。
- 本マシンの洗浄に高圧洗浄機は使用しないでください。さらに、本マシンは、高圧洗浄機を使用する可能性（洗浄目的など）のある場所付近への据付けにも適していません。
- 販売機をプラグなしで直接電源に接続した場合、配線の電気回路に、配線規則に従い、過電圧カテゴリ III の条件ですべての極を完全に遮断することのできる回路ブレーカーが装備されているか確認してください。
- 壁のコンセントに接続する際は、地域の規制に従い、接地された安全なコンセントを使用してください。配電網が故障電流用安全スイッチで保護されているか、さらに本マシンの据付け後も電源プラグにアクセスできるか確認してください。
- 電源コードの交換作業は、訓練と認可を受けた技術者のみとなっています。交換する際は、同じモデルのプラグ、もしくは付録 A に記載されているいずれかのモデルを使用してください。
- 製造元は、上述の指示内容を遵守しなかったことに起因する損害に対する責任を一切負いません。

船上でご使用になる際の注意事項

 **危険:**
専用キット (固定用) が付属されている販売機 Excellence は、傾斜角度 22.5 度、
振動周波数最大 0.1 Hz、各振動方向に最長 15 分間を条件とする安全基準に従いテストされています。

 **危険:**
傾斜がこの安全テストに定められた条件を超えた場合、販売機の電源を切り、追加の固定器具などを使って販売機周辺に人的・物的損害が出ないような対策を講じてください。

 **危険:**
通常の点検時には、すべてのねじが正しく安全に固定されているか、正しく締め付けられているか (6.5 Nm から 8 Nm)、反復運動による痕跡がないか確認してください。

 **危険:**
海が荒れている時は、荒れが治まった時や荒れている最中でも 1 日に 1 回は、すべてのねじが正しく安全に固定されているか、正しく締め付けられているか (6.5 Nm から 8 Nm)、反復運動による痕跡がないか確認してください。

 **危険:**
排水ハイクは、水が正しく排水される角度にする必要があります。

 **危険:**
NSF 承認を有効にするため、メーカーの名前、製品名および製品番号と一緒に表示されている NSF マークのステッカーを剥がさないでください (該当する場合)。

食品の安全に関する指針 (HACCP)

このマシンは、食品業界においてその導入が進む HACCP などの食品の安全に関する規定に従い、設計されています。使用者は、食品の安全および衛生に関する規定を遵守する責任があります。本マニュアルに記載されているクリーニング方法をしっかりと守ってください。HACCP 規定では、これらの手順の記録が義務付けられています。

- 保管および取り扱いについては、Cafitesse 製品のパッケージに印刷されている指示に従ってください。
- 製品パッケージまたはマシンと材料が接触する部品を取り扱う際は手を洗ってください。
- 計量器の先端に触れないでください。計量器を洗浄する時は、水のみですすぎ洗いしてください。
- 製品パッケージに記載されている「賞味期限」と「消費期限」を守ってください。いずれかの期限が過ぎしまった製品パッケージは使用しないでください。保管している製品パッケージから使用するようにしてください (先入れ先出し)。
- マシン周辺を常に整頓し、汚れのない状態を維持してください。
- 食品業界もしくは Cafitesse システムの販売店が推奨する洗剤のみを使用してください。安全に取り扱うため、洗剤のラベルに記載されている指示に従ってください。



警告:

マシンに水を吹きかけたり、浴びせたりしないでください。クリーニングに高圧洗浄機を使用しないでください。



警告:

マシンの背後や下を洗浄する際は、絶対にマシンを傾けないでください。やけどに注意してください!

ボイラーには熱湯が入っています。マシンを傾けたり、動かしたりするとこぼれ出る危険があります。

教育

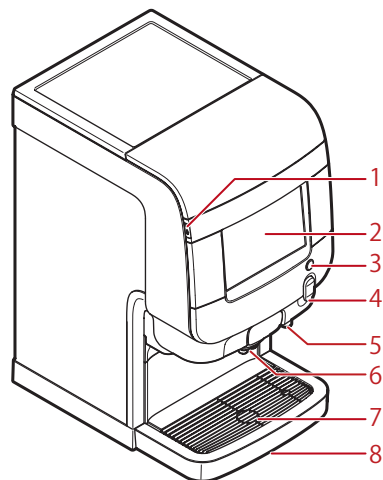
新しいスタッフには、食品の安全に関する指示 (HACCP) を教育してください。

- 新しいスタッフには、クリーニング計画とその方法を伝えてください。
- 新しいスタッフがマシンを運転する前に、使用マニュアルを読んだか確認してください。
- 使用マニュアルは本マシンの近くに保管してください。

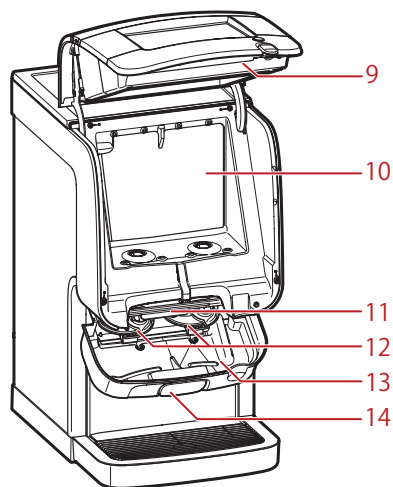
ご質問のある方は、お手数をおかけしますが、Cafitesse システムの販売店までお問い合わせください。

3 - 外観図

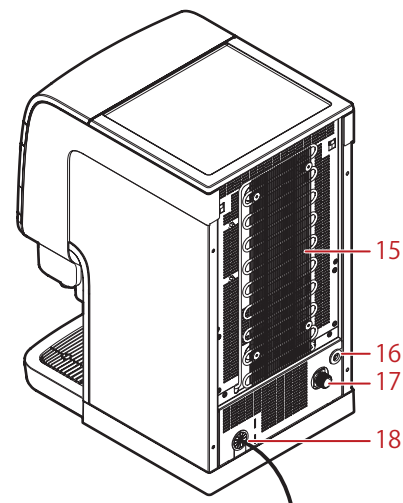
マシンの外観図



- 1. USBポート
- 2. タッチスクリーン
- 3. 熱湯抽出ボタン
- 4. ドアハンドル (施錠オプションあり)
- 5. 熱湯抽出口 (右)
- 6. ドリンク抽出口 (中央)
- 7. カップトレイ
- 8. ドリフトレイ

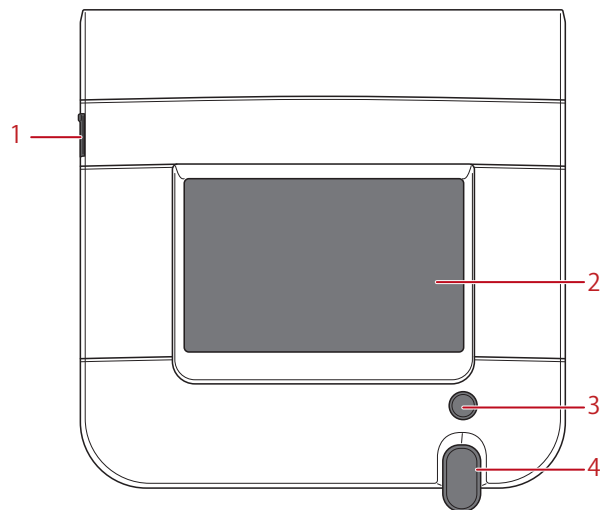


- 9. マシンドア
- 10. 冷却庫
- 11. リリースバー
- 12. 調合ボウル
- 13. 内ドリフトレイ
- 14. 抽出ユニット



- 15. コンデンサ
- 16. オプションマシン接続口
- 17. 水道接続口
- 18. 電源コード

操作パネル外観図

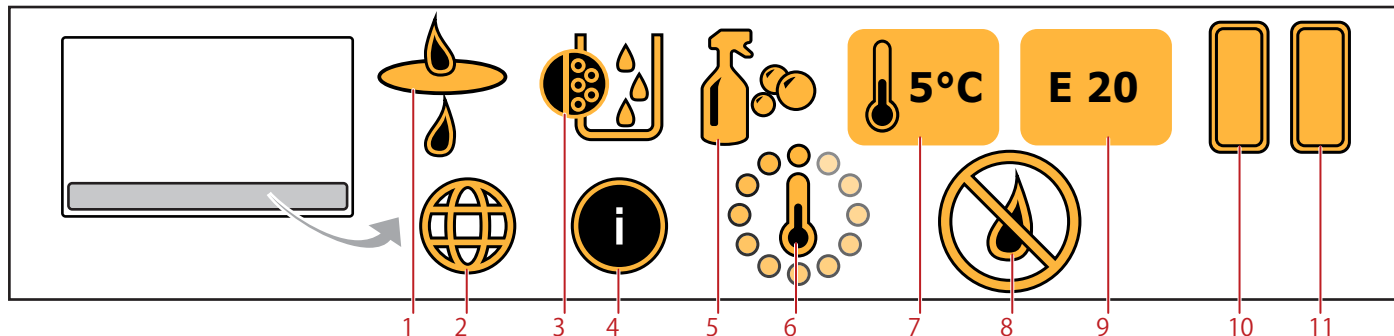


1. USBポート
2. タッチスクリーン
3. 給湯ボタン
4. ドアハンドル (施錠オプションあり)

ドリンクの抽出、クリーニング、プログラミングは、次のようにタッチスクリーンを指で操作して行います。この使用マニュアルでは、以下のように表現されています。

	アイコンや機能や対象となるものを有効にしたり、テキストメニューを開いたりするために触れる動作
	アイコンや対象となるものをずらしたり、他の場所へ移動させたりするために触れてそのまま押した状態を保持する操作
	メニューや数値をスクロールするために、タッチスクリーン上を指で上下左右に滑らせる動作

ステータスバー



マシンの状況に応じて、このステータスバーにはさまざまなアイコンが表示され、それぞれの意味は次の通りです。

1. **水フィルターアラーム** - 水フィルターの交換が必要です
2. **言語設定** - 言語や支払いシステムなどで使用する通貨などを設定します
3. **石灰除去アラーム** - ボイラーの石灰を除去してください
4. **栄養成分情報** - ドリンクに関する栄養成分情報を表示します
5. **クリーニングアラーム** - クリーニングを行ってください
6. **ボイラー加熱** - ボイラーの水が加熱しています
7. **冷蔵庫の温度**が表示されます
8. **水/ドリンクの抽出なし**
9. **エラーコード**が表示されます。本マニュアルの第8章「トラブルシューティング」を参照してください。
10. **左側にセットした製品パッケージ**の残量レベルが表示されます。この図は100%を示しています。
11. **右側にセットした製品パッケージ**の残量レベルが表示されます。この図は100%を示しています。

* = このメッセージはマーケットによっては無効にすることができます / ** = アイスドリンク機能はすべてのマシンに共通しているわけではありません

4 - 使用方法

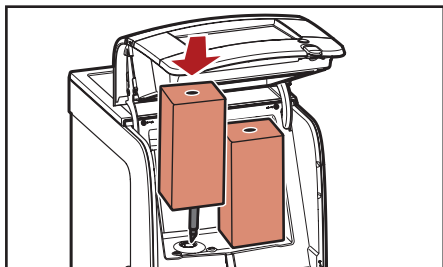


図4.1 - 製品パッケージをセットする

製品パッケージをセットする

注意:
冷凍した状態の製品パッケージやダメージを受けている製品パッケージは絶対に使用しないでください。「賞味期限」の切れた製品パッケージは使用しないでください。

1. 製品パッケージに触れる前に手を洗います。
2. パッケージに記載されている指示を読み、これに従います。
3. 本マシンのドアを開きます。
4. 製品パッケージをセットします (図 4.1)。
5. マシンのドアを閉めます。
6. テスト用にドリンクを抽出します。

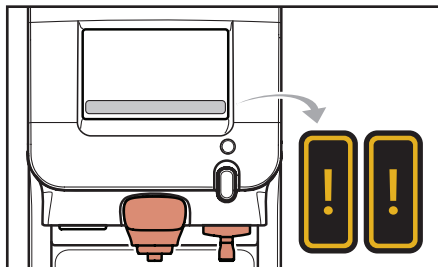


図4.2 - 製品パッケージの空アイコン

製品パッケージが空になったら

製品パッケージが空っぽになると、空になったドリンクがタッチスクリーン上に薄く表示されます。ドリンクを抽出することはできません。

製品パッケージが空っぽになったことを知らせるアイコンは、システムアイコン付近 (図 4.2) またはステータス画面内に表示されます。

使用可能な材料である熱湯や冷水のみを使うドリンクの抽出は可能です。

空っぽになった製品パッケージを交換するため、販売店のオペレーターに連絡します。
オペレーターの電話番号がオペレーターメニューに登録されている場合は、画面に電話番号が表示されます。

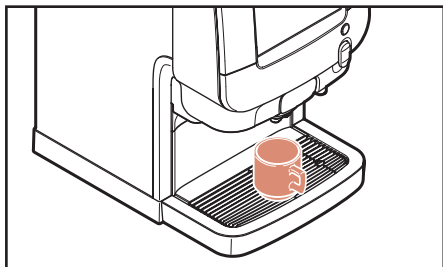


図4.3 - カップをセットする

カップ/ポットをセットする

このマシンには抽出口が2つ用意されています(図4.4)。

- 中央: ミルクやカカオ、紅茶、コーヒー用
- 右: 水(熱湯)用

注意:
 選んだ抽出口の下にカップまたはポットをセットしてください(中央 - ドリンク/右 - 水または熱湯)。

カップトレイの上にカップをセットします(図4.3)。
 大きなポットに入れる場合は特別な台が必要です。

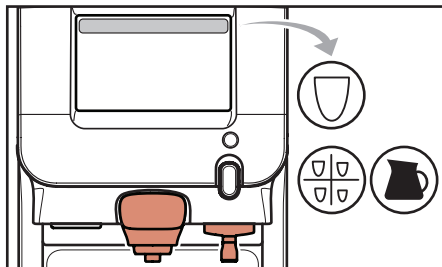


図4.4 - タッチスクリーンとドリンク抽出口

ドリンクを入れる

危険:
 マシンから抽出される液体は非常に高温です! やけどに注意してください! ドリンクを抽出している間は、手や体の一部をマシンから離してください。本マシン付近では、絶対に、監視のない状態で子供を遊ばせないでください。

以下の機能やメニューの切り替えはアシスタント担当者が行います。これらの変更を希望する場合は、Cafitesse システムの販売店にお問い合わせください。

このマシン「Excellence Touch」は、複数のドリンク抽出方法が用意されています(図4.4)。

- タッチスクリーンの「自分のドリンクを入れる」「複数杯のドリンクを入れる」または「ポット」を使った分量抽出
- 給湯ボタンを使った熱湯のフリー抽出方法(14ページの図4.10を参照)

分量抽出

抽出ボタン「START」を押すときは、1回のみにしてください。一定量の抽出が終わると、自動的に抽出は停止します。

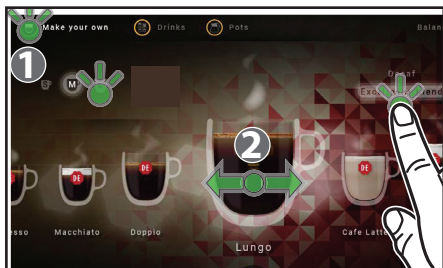


図4.5 - [ドリンクを入れる] 画面

メニュー「ドリンクを入れる」

- 注記:**
ドリンク選びを有効にしたのにドリンクの抽出が行われない場合、マシンは数秒後にデフォルト状態に戻ります。
1. マシンが抽出モード (図 4.5) になっている時に、タッチスクリーンの左上にあるアイコン [ドリンクを入れる] (1) をタッチします。
 2. タッチスクリーン上で次を選びます。
 - **希望のドリンク (2)**- 選んだドリンクを画面中央に移動します (図 4.5)。

- **ドリンクのサイズ**- S (small: 小)、M (medium: 中)、L (large: 大) を選びます (図 4.5)。
- 注記:**
ドリンクを入れる際は、必ず、選んだサイズに適した大きさのカップを使用してください。
- **材料**- この選択は、2種類のコーヒーを使ったマシン設定の時に使用します (図 4.5)。

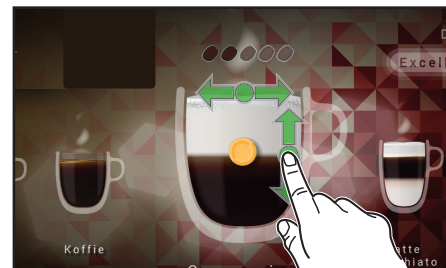


図4.6 - [ドリンクを入れる]- 濃度 > 比率

- **ドリンクの濃度**- カップ中央にあるディスクボタンを左右に動かします (コーヒー豆のイラストが強調されるほど、ドリンクが濃くなります) (図 4.6)。
- **材料の比率** (ミックスドリンクのみ) - ディスクボタンを左右に動かして、材料の量を調整します (図 4.6)。



図4.7 - ドリンク抽出の[START]と[STOP]

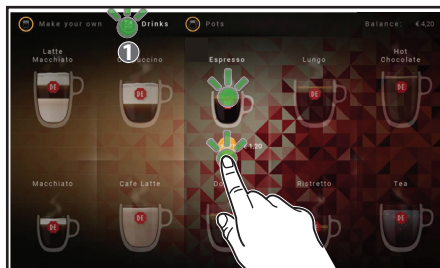


図4.8 - [ドリンク]

⚠ 危険:
マシンから抽出される液体は非常に高温です!やけどに注意してください!手や体の一部をマシンから離してください。

3. カップトレイの上にカップをセットします。
4. タッチスクリーン上の [START] ボタンをタッチします (図 4.7)。

ドリンクがカップに抽出されます。タッチスクリーン上ではそれぞれのアニメーション画面が表示されます。

- ドリンクの抽出を中断したい場合は、タッチスクリーン上にあるドリンク抽出 [STOP] ボタンを押します (図 4.7)。

[ドリンク] メニュー

1. マシンが抽出モードになっている時に、タッチスクリーンの中央上にあるアイコン [ドリンク] (1) をタッチします (図 4.8)。
2. 抽出したいドリンクをタッチします。
3. 選んだドリンクに最適なサイズのカップをセットします。

⚠ 危険:
マシンから抽出される液体は非常に高温です!やけどに注意してください!手や体の一部をマシンから離してください。

4. 抽出 [START] ボタンをタッチします。
すぐにドリンクの抽出が開始します。

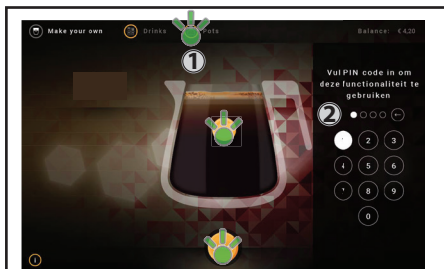


図4.9 - [ポット]

[ポット] メニュー

1. マシンが抽出モードになっている時に、タッチスクリーンの右上にあるアイコン [ポット] (1) をタッチします (図 4.9)。
2. 要求される場合は、PINコード (2) を入力します (図 4.9)。
3. 抽出したいドリンクをタッチします。
4. ポットの大きさになるようにディスクボタンを上下に動かします。
5. 必要なサイズのポットをセットします。



危険:

マシンから抽出される液体は非常に高温です! やけどに注意してください! 手や体の一部をマシンから離してください。

6. 抽出 [START] ボタンをタッチします。
すぐにドリンクの抽出が開始します。

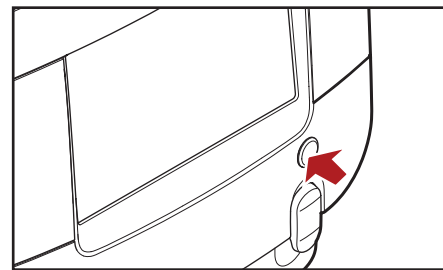


図4.10 - 熱湯を抽出する

給湯ボタン (フリー給湯)

1. 右側の給湯口の下に選んだカップやポットをセットします。



危険:

マシンから抽出される液体は非常に高温です! やけどに注意してください! 手や体の一部をマシンから離してください。

2. 熱湯ボタンを押します。希望する量の熱湯が抽出されるまで、ボタンを押し続けてください (図 4.10)。



注記:

セルフサービスでマシンを使用する際は、カップサイズを決めて、分量抽出にすることをお勧めします。

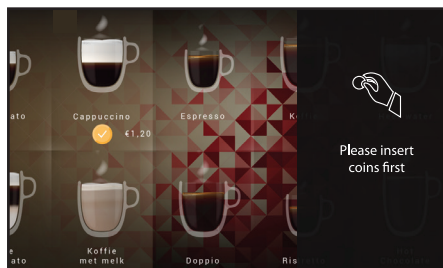


図4.11 - 支払いシステムを使ってドリンクを入れる

支払いシステムを使ってドリンクを入れる

支払いシステムがインストールされていて、さらに「有料モード」に設定されている場合は、次の手順に従ってください。

1. 支払いシステムに十分な現金またはe-キャッシュを入れます (図 4.11)。
2. ドリンクを選んで、それぞれの抽出口の下にカップやポットをセットします。



危険:

マシンから抽出される液体は非常に高温です! やけどに注意してください! 手や体の一部をマシンから離してください。

3. ドリンクの抽出を開始します。

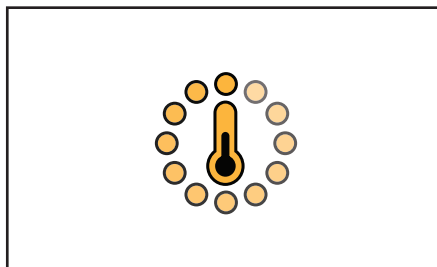


図4.12- 加熱アイコン

マシンの電源を切る

夏季休暇など、マシンを長期間使用しない時は、次の作業を行ってください。

1. 製品パッケージを取り出して、賞味期限を確認します。
2. マシンの使用を再開するまで、製品パッケージを冷蔵庫で保存します。賞味期限が過ぎている場合、この製品パッケージは廃棄してください。



注意:

- 製品パッケージを冷凍しないでください。
- 3. マシンの徹底的なクリーニングを行います。
- 4. コンセントから電源プラグを抜きます。
- 5. 水道の蛇口を閉めます。

マシンの電源を入れる

1. 水道の蛇口を開きます。
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

マシンが水の加熱と冷却庫の冷却を開始します。ボイラー内の水が正しい温度に達するまで、ドリンクの抽出はできません。

3. 加熱アイコン (アニメーション温度計) がタッチスクリーン上に表示されます (図 4.12)。
4. 水温が設定温度に達すると、この加熱アイコンが画面から消えて、マシンの運転が開始します。



注記:

ボイラー内の水が設定温度に達するまで、常温環境で約15分かかります。冷却庫の冷却には、24時間以上必要です。



注記:

マシンを長期間使用しなかった場合、定期クリーニングとエコ設定を有効にするため、日時を設定してください。



図4.13 - 言語と国を設定する



図4.14 - 栄養成分情報

各設定とその説明

言語と国を設定する

1. 抽出モードになっているタッチスクリーンの左下の角にある世界アイコンをタッチします (図 4.13)。国と言語の一覧が画面右側に表示されます。
2. 該当する国が表示されるまで、画面を上下にスクロールします。
3. 言語や特殊設定 (ドリンク名や通貨など) を指定するため、該当する国旗と国名をタッチします。

栄養成分情報

- 抽出モードになっているタッチスクリーンの左下の角にある栄養成分アイコンをタッチします (図 4.14)。選んだドリンクの栄養成分情報の一覧が画面右側に表示されます。

5 - クリーニング

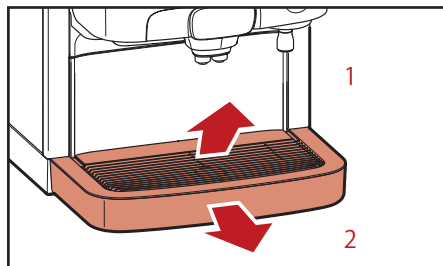


図5.1 - カップトレイとドリフトレイを取り外す
外観のクリーニング

注記:
マシンの外観は毎日掃除してください。

1. カップトレイを外します (図 5.1 の 1)。
2. ドリフトレイを外します (図 5.1 の 2)。
3. ドリフトレイの中身を捨てます。

注記:
ドリフトレイは定期的に確認し、中身を捨ててください。

4. カップトレイとドリフトレイを洗浄します。
5. これらの部品を元に戻します。
6. 水を含ませた清潔な布でマシンの外観を掃除します。

クリーニング方法

クリーニングプログラムは 2 種類用意されています。

- ・ ドリンク抽出口の「洗浄」
- ・ 冷却庫とドリンク抽出口の「徹底クリーニング」



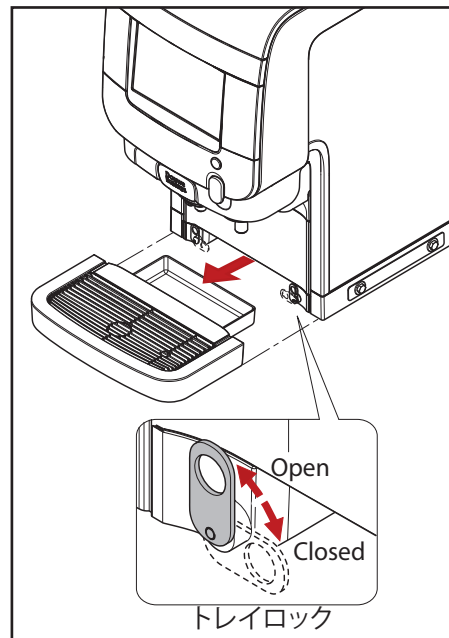
注意:

コールドドリンクなどの一部のディスペンサー構成では、ディスペンサーを毎日洗浄する必要があるとして設定されています。

ホットドリンクのみなどの一部の構成では、食品の安全性を保证するため、「完全洗浄」プログラムを少なくとも週に 1 回実行する必要があります。さらに、ミルクコーヒーバージョンやチョコレートコーヒーバージョンでも週に 1 回以上「水洗」プログラムを実行する必要があります。

ディスペンサーソフトウェアにより、ドリンク構成に基づき、週に洗浄および水洗を行う最低回数が決定します。この最低回数は必須であり、変更することはできません。

必須の洗浄作業が毎日設定されていない場合は、メニュー 3.6.3 で洗浄日を変更することができます。



Excellence Touch Marine ドリフトレイの外し方

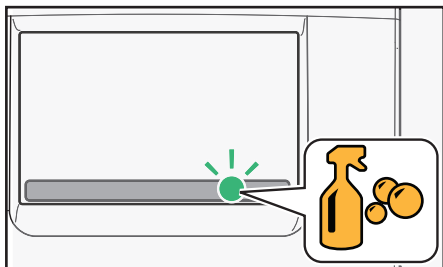


図5.2 - 洗浄アイコン

マシンのクリーニングのタイミング

画面に洗浄アイコンが表示されたら、クリーニングプログラムをスタートさせてください(図 5.2)。

24時間以内にマシンの洗浄やクリーニングが行われないと、ドリンクの抽出がブロックされるようになっていきます。

抽出を再開させるため、洗浄プログラムをスタートさせてください。

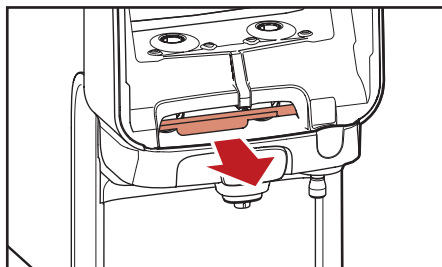


図5.3 - リリースバー(赤)を引く

洗浄



注記:

ミルクとコーヒーやチョコとコーヒーマシンのみ、RINZA洗浄タブレットが必要です。

1. 次の手順で洗浄プログラムをスタートします。
 - ・洗浄が必要になったら、タッチスクリーンに表示される洗浄アイコンをタッチします(図 5.2)。
 - ・オペレーターモードが有効になっている場合は、オペレーターのUSBキーを挿入またはタッチスクリーン上でPINコードを入力して、オペレーターモードを起動します(メニュー 1.1「プログラミング」参照)。

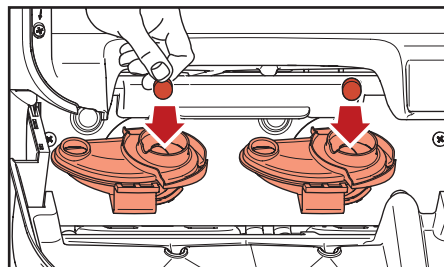


図5.4 - 洗浄タブレットRINZAを投入する



注記:

マシンを洗浄する際は、常にこのオペレーターモードを起動させてください。

画面の指示に従ってください。

2. 本マシンのドアを開きます。
3. 抽出ユニットを開けるため、リリースバー(赤)を引き出します(図 5.3)。
4. 洗浄タブレットRINZAをそれぞれの調合ボウルに1つずつ投入します(図 5.4)。
5. 音がするまで、抽出ユニットのカバーを上方向に押します。
6. マシンのドアを閉めます。

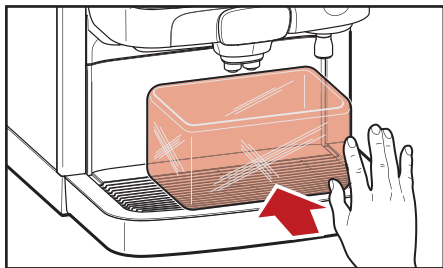


図5.5 - 容器をセットする

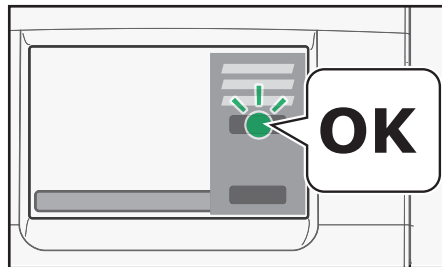


図5.6 - 洗浄やクリーニング中に [OK] をタップする

画面の指示に従ってください。

7. ドリンクと給湯口の下に容器を置きます (図 5.5)。
8. RINZA洗浄タブレットをセットして、容器を正しい位置にセットしたら、[OK] を押して確定します (図 5.6)。

画面の指示に従ってください。



危険:

マシンから抽出される液体は非常に高温です! やけどに注意してください! 手や体の一部をマシンから離してください。

9. 熱湯を使った洗浄をスタートするため、[OK] をタッチします (図 5.6)。

画面には進行状況が表示されます。修了したらマシンを使用することができます。

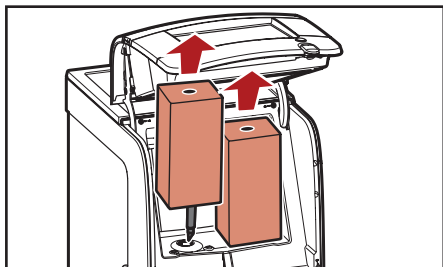


図5.8 - 製品パッケージを取り出す

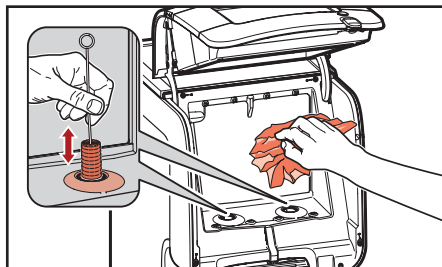


図5.9 - 冷却庫を掃除する

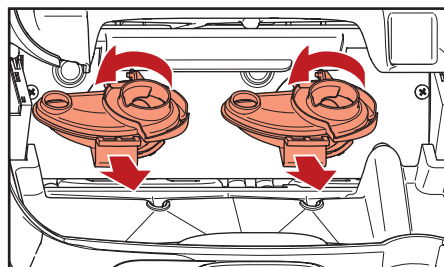


図5.10 - 調合ボウルを取り外す

トータル洗浄



注記:

ミルクとコーヒーやチョコとコーヒーマシンのみ、RINZA洗浄タブレットが必要です。

1. 次の手順で徹底クリーニングプログラムをスタートします。
 - 徹底クリーニングが必要になったら、タッチスクリーンに表示される洗浄アイコンをタッチします (図 5.2)。
 - オペレーターモードが有効になっている場合は、オペレーターのUSBキーを挿入またはタッチスクリーン上でコードを入力して、オペレーターモードを起動します (メニュー 1.1「プログラミング」参照)。



注記:

マシンを徹底クリーニングする際は、常にこのオペレーターモードを起動させてください。

- 画面の指示に従ってください。
2. 本マシンのドアを開きます。
3. 製品パッケージを取り出します (図 5.8)。



注記:

時間短縮のため、清潔なシールリングと調合ボウルで構成されている交換キットの使用を推奨しています。

4. ブラシを使って計量器の開口部を掃除します。さらに、冷却庫内部は水を含ませた清潔な布で掃除してください (図 5.9)。清潔なペーパータオルで水分をふき取ります。

5. 製品パッケージの賞味期限が切れていない場合は、これらを元に戻します。賞味期限が切れている場合は、新しい製品パッケージをセットしてください。

画面の指示に従ってください。

6. 調合ボウルを洗浄します。
 - a. 抽出ユニットを開けるため、リリースパー (赤) を引き出します (図 5.3)。
 - b. 調合ボウルを反時計回りに回転させてロックを解除したら、これらを引っ張るようにして取り出します (図 5.10)。

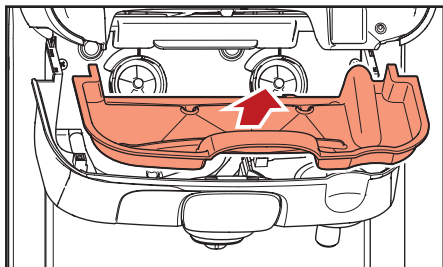


図5.11 - 内ドリフトレイを取り出す

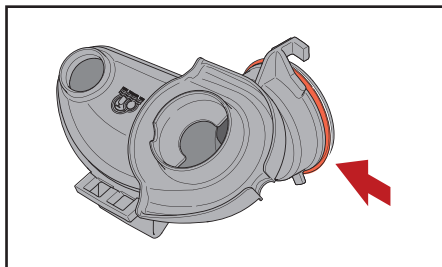


図5.12 - 調合ボウルのシールリング

- c. 内ドリフトレイを取り出して、必要に応じて、洗浄します (図 5.11)。
- d. 調合ボウルを洗浄します。
 - ・ 食器洗い機 (最高温度 90°C/194° F) または
 - ・ 食品用洗剤を入れたぬるま湯に15分間浸します。
- e. 食品用洗剤を入れたぬるま湯に、シールリングを15分間浸します。



注記:

洗剤のパッケージに記載されている安全に関する指示と使用方法を守ってください。

- f. 調合ボウルとシールリングを水道水でしっかり洗い流したら、清潔なペーパータオルで水分をふき取ります。



注意:

シールリング (青) が調合ボウルにしっかり固定されているか確認してください (図 5.12)。

- g. シールリングを取り付けたきれいになった調合ボウルを戻します。回らなくなるまで、時計回りに回転させてください。
- h. 内ドリフトレイを戻します (取り外した場合)。
- i. 洗浄タブレットRINZAを両方の調合ボウルに1つずつ投入します (図 5.4)。
- j. 音がするまで、抽出ユニットのカバーを上方向に押します。
- k. マシンのドアを閉めます。

画面の指示に従ってください。

7. ドリンクと給湯口の下に容器を置きます (図 5.5)。
8. RINZA洗浄タブレットをセットして、容器を正しい位置にセットしたら、[OK] を押して確定します (図 5.6)。

画面の指示に従ってください。



危険:

マシンから抽出される液体は非常に高温です!やけどに注意してください!手や体の一部をマシンから離してください。

9. 熱湯を使ってすすぎ洗いをスタートするため、[OK] をタッチします。

画面には進行状況が表示されます。

終了したらマシンを使用することができます。

6 - プログラミング

はじめに

本章には、マシンに搭載されているメニューと機能が記載されています。

これらのメニューと機能の切り替えはアシスタント担当者が行います。そのため、お使いのマシンによっては、メニューと機能が非表示になっている場合があります。

プログラム設定の変更は、Cafitesse システムの販売店にお問い合わせください。

以下に説明する主な機能はメニューの順番通りとは限りません。

ソフトウェアバージョンの更新は、専用のUSBキーを使います。

本マニュアルに記載されているアイコンや画面のレイアウトやイメージは、マシンの設定によって、実際のマシンのタッチスクリーンとは異なる場合があります。

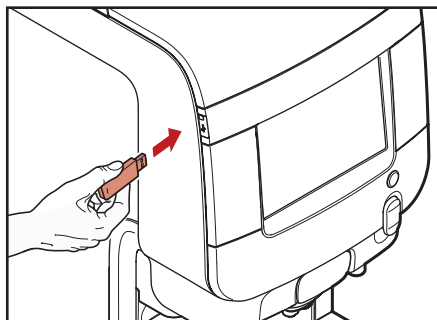


図6.1 - オペレーターUSBキーの挿入方法

オペレーターメニューにアクセスする

オペレーターメニューへのアクセス方法は次の2つの方法があります (オペレーターモード)。

- オペレーターUSBキーを挿入します (図 6.1)。

または、アシスタント担当者によって、この機能を有効にしてある場合は、

- タッチスクリーンの右上角を押した状態のまま、下方向に移動します。
- 有効になっているオペレーターメニューにアクセスするため、コード [5555] を入力します。

次のメニューが使用できます。

- カウンター (統計データ) - ドリンクカウンターを読み取ることができます
- ドリンクの量/濃度を変更できます
- 日時や言語を設定できます
- 洗浄や徹底クリーニングを実行できます
- 洗浄日 - 洗浄と徹底クリーニングを行う曜日を設定できます
- 省エネモードを設定できます
- オペレーターの連絡先番号の有無を切り替えることができます
- 製品パッケージの交換からカウントダウン設定して、メッセージ「もうすぐ空になります」の表示を有効にすることができます
- エラー (またはリセット) を出力することができます
- ドリンクを設定することができます
- 価格を設定することができます (支払いシステムが搭載されている場合のみ) (第7章「支払いシステム」参照)
- 画面設定

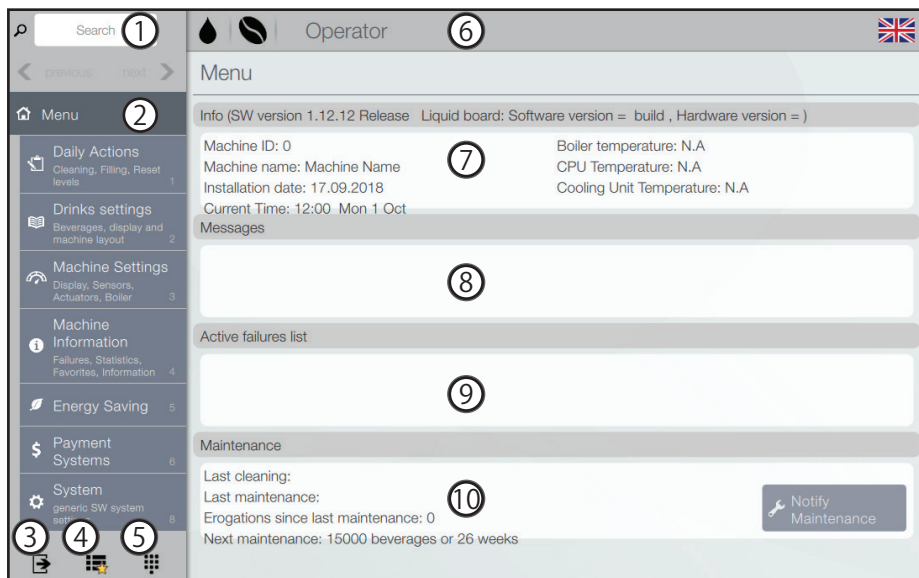


図6.2 - プログラミングホームメニュー

プログラミングホームメニュー説明 (図 6.2)

1. 検索欄
2. サイドメニュー
3. 「戻る」アイコン
4. 「お気に入り」アイコン
5. テンキー

6. オペレーターモード見出し
7. 情報スペース
8. メッセージスペース
9. エラースペース
10. メンテナンスとクリーニング情報スペース

プログラミングホームメニュー

プログラミングメニューが表示されます。デフォルト設定では、タッチスクリーンにサイドメニューと機能パラメータが表示されています。

- ・ パーソナライズされている場合など、すべての機能やパラメータが表示されていない時は画面をスクロールしてください。

検索欄 (1)

機能を名前で検索することができます。

1. 検索欄をタッチして、キーボードを表示させます。
2. 機能名を入力します。
入力した文字が含まれる機能が、入力と同時に表示されます。
3. 一覧から探している機能を選択します。

サイドメニュー (2)

現在ログインしているユーザープロフィールで使用可能な機能と [進む/戻る] ボタンが表示されています。

「戻る」アイコン (3)

保存しないでプログラミングメニューを修了する場合は、「戻る」アイコンをタッチします。

マシンは抽出モードに戻ります。

「お気に入り」アイコン (4)

この「お気に入り」とは、頻繁に使用する機能へのショートカットキーです。

1. 「お気に入り」アイコンをタッチします。
画面には頻繁に使用する機能一覧が表示されます。
2. 素早くアクセスするため、「お気に入り」内の一覧で機能をタッチします。

「お気に入り」機能への追加方法

1. 「お気に入り」一覧に追加したい機能を有効にします。
2. メッセージバーの ★ アイコンをタッチします。
★ アイコンの色が変わり、この機能が「お気に入り」一覧に追加されます。

「お気に入り」機能からの削除方法

1. 「お気に入り」をタッチして、削除したい機能を有効にします。
2. メッセージバーの ★ アイコンをタッチします。
★ アイコンの色が変わり、この機能が「お気に入り」一覧から削除されます。

テンキー (5)

ユーザープロフィール別のプログラミングメニューへのアクセスコードの入力など、数字入力に使用します。

メッセージスペース (6)

次が表示されます。

ステータスアイコン (水量、製品パッケージが空になりましたなど)

アイコンをタッチすると、ステータスに関する指示を受けることができます。

メニューへのアクセスプロフィール (技術者など)

使用するプロフィールに応じて、使用可能なメニュー機能が異なります。一定のプロフィールで使用可能な機能でも、他のプロフィールでは使用できない場合があります。

「言語」アイコン

国旗アイコンをタッチすることで、メッセージの表示言語を変更することができます。

「プロフィールの追加/削除」アイコン

情報スペース (7)

マシンに関する情報が表示されます。

メッセージスペース (8)

特に多く使用された製品に関する統計データなどの情報が表示されます。

エラースペース (9)

マシンの発生したエラーが表示されます。

メンテナンス情報スペース (10)

次のイベントが表示されます。

- 前回の洗浄日
- 前回のメンテナンス日
- 前回のメンテナンス以降に抽出されたドリンク数
- 次のメンテナンス期限
- 現在の日時を前回のメンテナンス日として設定するため、「メンテナンス通知」欄をタッチしてください。

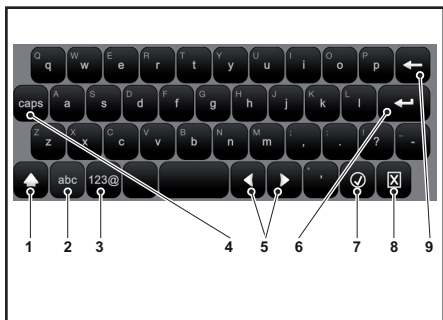


図6.3 - キーボード

数を入力する

プログラミングメニューの数値入力や変更は、自動的に表示される次のいずれかの方法で行います。

キーボード (図 6.3)

1. 次の大文字を入力します (SHIFTキー)
2. 「数字/記号」から「文字」へとキーボードを切り替えます
3. 「文字」から「数字/記号」へとキーボードを切り替えます
4. 大文字を入力します (CAPS LOCKキー)
5. 文字列内のカーソルを移動します
6. 新しい行に入力します (2行文字列用)
7. 数値を確定します
8. 入力した文字列を削除して、キーボード入力を終了します

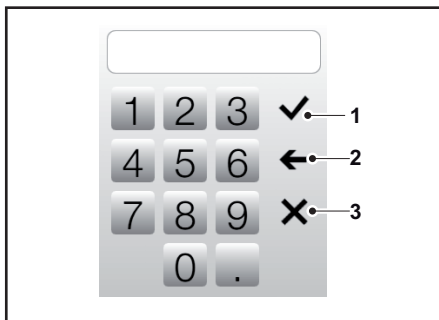


図6.4 - テンキー

9. 入力した最後の文字を削除します (BACK SPACEキー)

テンキー (図 6.4)

1. 数値を確定します
2. 入力した最後の数字を削除します (BACK SPACEキー)
3. 入力した数値を削除して、テンキー入力を終了します

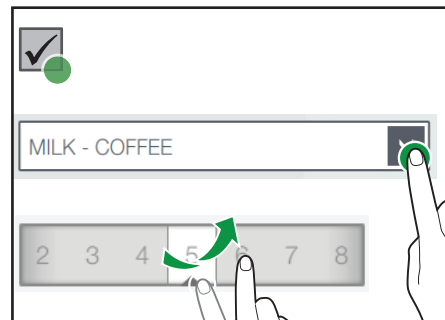


図6.5 - チェックボックス、ドロップダウンメニュー、数値選択

チェックボックス (図 6.5 の 1)

- チェックボックスをタッチして、オプションの有無を設定します。

ドロップダウンメニュー (図 6.5 の 2)

- 矢印をタッチして、ドロップダウンメニューを開いて、項目を選びます。

数値選択 (図 6.5 の 3)

- 希望する数値を選択するためスクロールします。

毎日の作業 (メニュー 1)

クリーニング

- ・メニュー 1 > 1.1 をタッチします。
- ・「洗浄」と「徹底クリーニング」の指示に従います。章「クリーニング」を参照してください (図 6.6)。

充填

- ・メニュー 1 > 1.2 をタッチします。
- ・製品パッケージの量の管理機能を有効にします。

レジ機能

章「7. 支払いシステム」を参照してください。

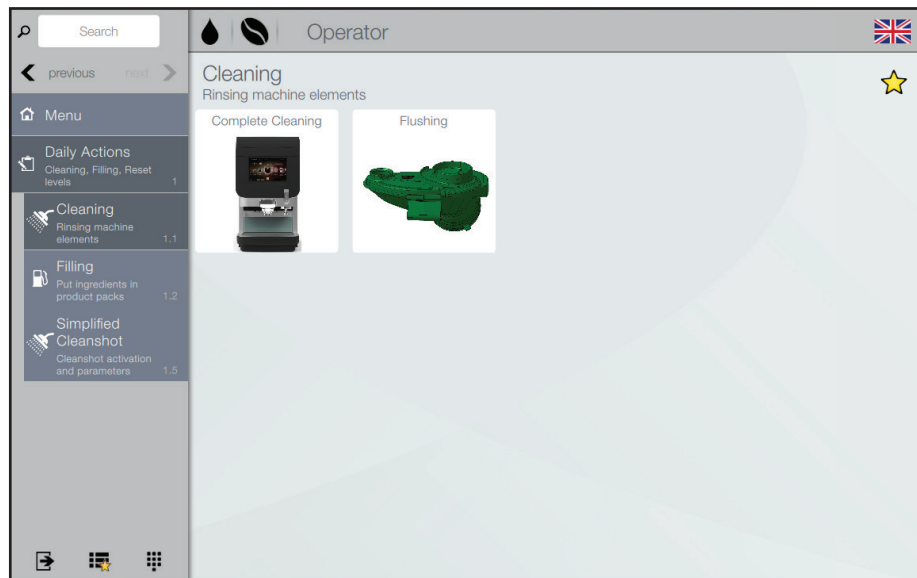


図6.6 - クリーニング

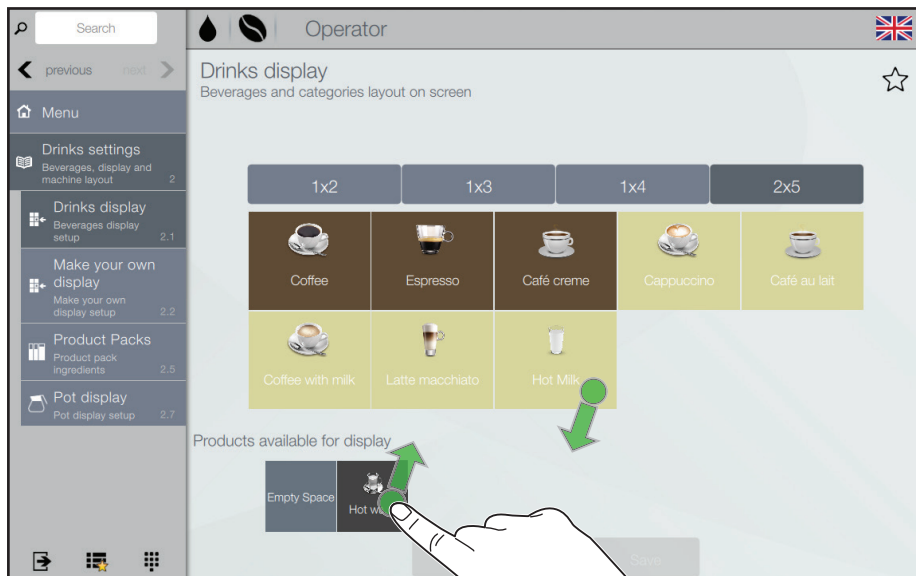


図6.7 - ドリンク画面

ドリンクの設定 (メニュー 2)

ドリンク画面

- メニュー 2 > 2.1 をタッチします。

お使いのマシンで抽出することのできるドリンクがタッチスクリーン上に表示されます (図 6.7)。

- [1X2] [1x3] [1x4] [2x5] のいずれかをタッチして、抽出モードのドリンクレイアウトを設定します。

- 画面の下から上にドリンクを移動させると抽出を有効にします。

さらに/または

画面の上から下にドリンクを移動させるとそのドリンクの抽出を無効にします。

- [保存] をタッチして、変更を保存します。

または

[キャンセル] をタッチして、保存前の機能を保持します。



図6.8 - 自分の画面を作る

自分の画面を作る

このメニューでは、デフォルト設定のドリンクを変更することができます。

- メニュー 2 > 2.2 をタッチします。

お使いのマシンで抽出することのできるドリンクがタッチスクリーン上に表示されます (図 6.8)。

- ドロップダウンメニューをタッチして、必要に応じて、メニュー「自分のドリンクを入れる」のデフォルトメニューとして表示するドリンクを選びます。
- 画面の下から上にドリンクを移動させると抽出を有効にします。
さらに/または
画面の上から下にドリンクを移動させるとそのドリンクの抽出を無効にします。
- [保存] をタッチして、変更を保存します。
または
[キャンセル] をタッチして、保存前の機能を保持します。

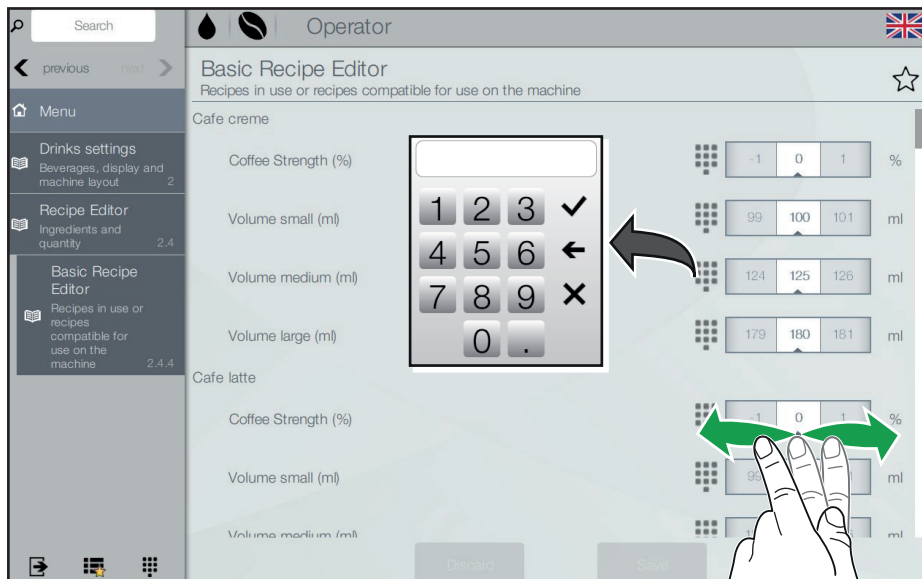


図6.9 - レシピを修正する(量 / 濃度)

レシピを修正する(量 / 濃度)

- メニュー項目を 2> 2.4 > 2.4.4 の順番にタップします

お使いのマシンで使用できるドリンクがタッチスクリーン上に表示されます。ドリンクのデフォルト設定での量と濃度を調整してください。

- 修正したいドリンクのアイコン  をタッチします。
- テンキーと数値選択を使って、希望する数値を設定します (図 6.9)。

❖ 注記:
各数値は次の範囲で、必要に応じて調整が可能です。

- 濃度については 90% と 110%
 - 体積の SML 全体値 (単位 mL)
 - [保存] をタッチして、修正値を保存します。
- または**
[キャンセル] をタッチして、保存前の機能を保持します。

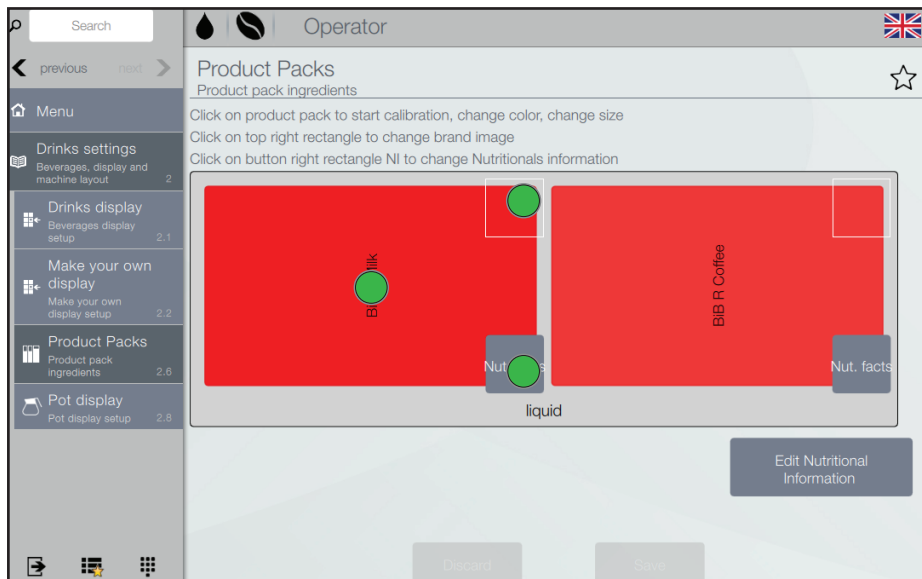


図6.10 - 製品パッケージ

製品パッケージをセットする

- メニュー 2 > 2.6 をタッチします。
- 画面 (図 6.10) にある希望の製品パッケージをタッチして、次を行います。
 - 製品パッケージの調整
 - 製品パッケージの色の設定/変更
または
 - 製品パッケージのサイズの設定/変更
- 画面に表示されている製品パッケージの右上隅をタッチして、メーカーイメージを設定/変更します。
- 画面に表示されている製品パッケージの右下隅をタッチして、栄養成分情報を設定/変更します。
- [保存] をタッチして、修正値を保存します。
または
[キャンセル] をタッチして、保存前の機能を保持します。

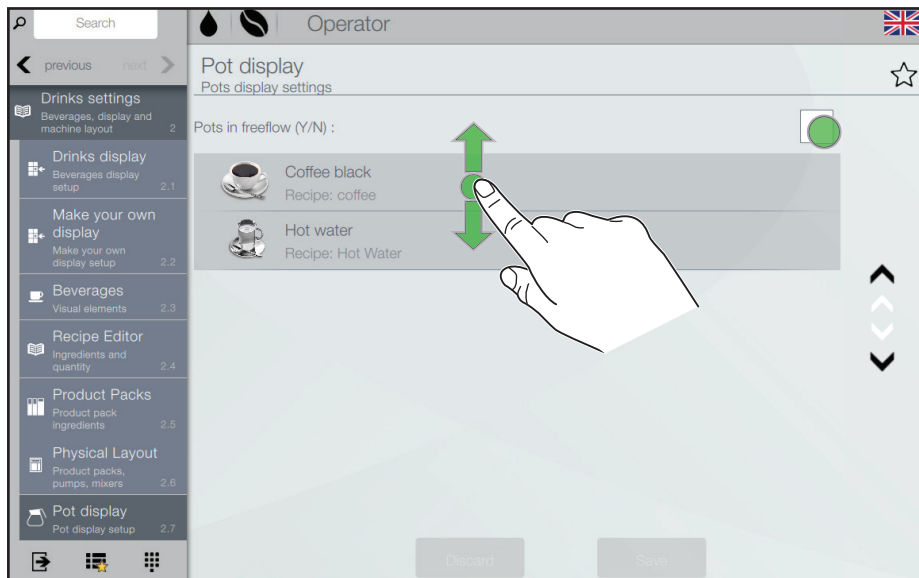


図6.11 - ポット画面

ポット画面

- メニュー 2 > 2.8 をタッチします。

フリー抽出用チェックボックスとお使いのマシンでポット抽出が許可されているドリンクがタッチスクリーン上に表示されます (図 6.11)。

- フリー抽出モードでポットに入れるかどうかを、このチェックボックスをタッチして決定します (チェックを入れるとフリー抽出を可能にします)。

ポットを使用する際のドリンクリストを作成します。

- ポット抽出用リストのドリンクを順番に並べます。
- [保存] をタッチして、修正値を保存します。

または

[キャンセル] をタッチして、保存前の機能を保持します。

マシンの設定 (メニュー 3)

基本表示設定

- メニュー 3 > 3.3 > 3.3.3 をタッチします。

最大数値を 100 として、タッチスクリーンの明るさを設定します。

次の表示のオンとオフを切り替えます。

- マシンのスタート時に表示される画面
- スクリーンセーバー -
有効にした後、スクリーンセーバーが起動するまでの時間を設定します
- ポット画面へアクセスするためのPINコード
- 抽出メッセージ
- カップのロゴ
- 栄養成分情報見出し
- 冷却庫の温度

テキスト/フィード

- メニュー 3 > 3.3 > 3.3.5 をタッチします。

通常運転時およびドリンクの抽出時に、タッチスクリーンの下部にRSSフィード (ニュース) や固定文を表示させることができます。

- RSSフィード (ニュース) を表示させるには、マシンをインターネットに接続させます。
- 事前に用意されているリストから RSSフィードのインターネットアドレスを選ぶ、またはカスタムしたアドレスを入力します。

マシンのデフォルト設定では、固定文 (マシンはインターネットに接続されていません) が表示されるように設定されています。

- 通常運転中に表示させたい文を入力します。
- [新規追加] をタッチすると、他の固定文を追加することができます。

製品パッケージの量

- メニュー 3 > 3.4 > 3.4.1 をタッチします。

製品パッケージの量カウンターを有効にしたり、無効にしたりします。
中身の量と調整可能なパラメータと2つの製品パッケージを表示します。

- 算出量:「もうすぐ空になります」の事前アラームを管理するカウンターを有効にします。

製品パッケージの中身の比率が赤で表示される場合、この製品パッケージが事前アラーム状態にあることを示しています。メニュー 1.2 を参照してください。

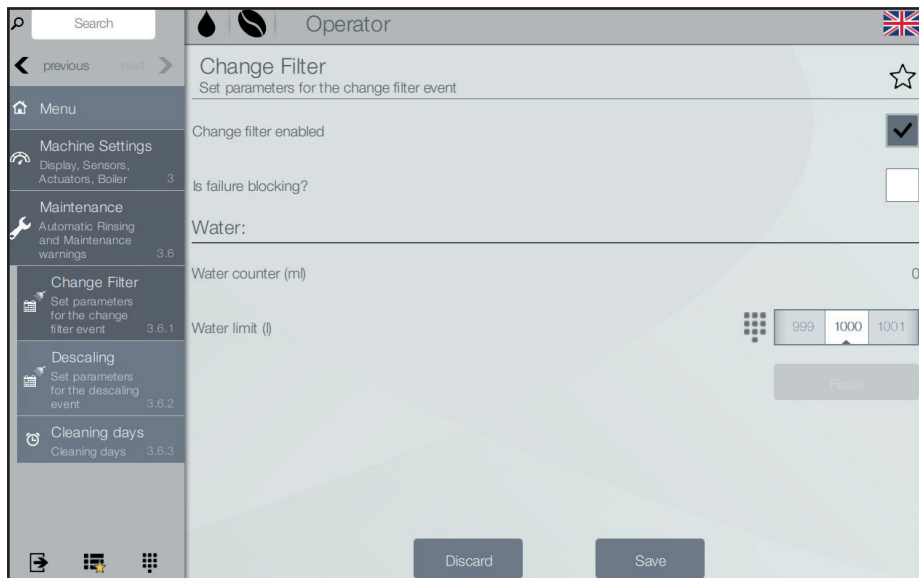


図6.12 - フィルターを交換する

フィルターを交換する

- メニュー 3 > 3.6 > 3.6.1 をタッチします。

次の設定を行います (図 6.12)。

- 水フィルターを使用している場合は、フィルター交換機能を有効にします。
- 故障 (カウンターの数値 > 水の制限) した場合、ドリンクの抽出を停止させるか、しないかを設定します。
- フィルターを交換するまでの水 (冷水と熱湯) の制限を設定します。
- [保存] をタッチして、修正値を保存します。

または

[キャンセル] をタッチして、保存前の機能を保持します。

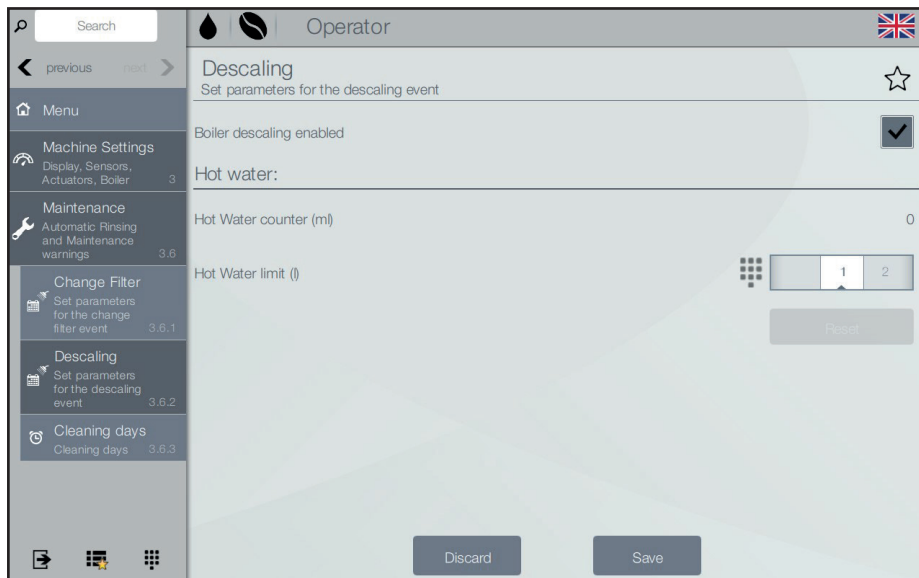


図6.13 - 石灰を除去する

石灰を除去する

- メニュー 3 > 3.6 > 3.6.2 をタッチします。
 - ボイラーやその他の部品の定期的な石灰除去を希望する場合は、この石灰除去機能を有効にします (図 6.13)。
 - 石灰除去を起動させる際の冷水と熱湯の制限を設定します。
 - [保存] をタッチして、修正値を保存します。
- または**
[キャンセル] をタッチして、保存前の機能を保持します。

クリーニングの曜日

- メニュー 3 > 3.6 > 3.6.5 をタッチします。



注記:

ディスペンサーの構成により、必須の最低洗浄日数が自動で決定します。一部の構成ではディスペンサーは毎日洗浄する必要があり、このスケジュールは変更できません。」

マシンの自動クリーニング設定を次のように調整します。

- 徹底クリーニング/洗浄プログラムを実行する時/その必要がある時
- 徹底クリーニング/洗浄プログラムを実行する曜日



注意:

コールドリンクなどの一部のディスペンサー構成では、ディスペンサーを毎日洗浄する必要があるとして設定されています。ホットドリンクのみなどの一部の構成では、食品の安全性を保証するため、「完全洗浄」プログラムを少なくとも週に1回実行する必要があります。さらに、ミルクコーヒーバージョンやチョコレートコーヒーバージョンでも週に1回以上「水洗」プログラムを実行する必要があります。

クリーニングする日を決定する

コーヒーとコーヒーの組み合わせマシンを使用している場合、このマシンでは1週間に1回、徹底クリーニングを実行する必要があります。この実行する曜日を自分で決定することができます。

一方、ミルクとコーヒーまたはチョコとコーヒーの組み合わせマシンを使用している場合、1週間に1回以上は「徹底クリーニング」と「洗浄」を実行する必要があります。少なくとも2曜日以上を選択し、さらに4日以上空かないようにしてください。

下の表は曜日の組み合わせを示したものです (赤＝徹底クリーニング グレー＝洗浄)。

日	月	火	水	木	金	土
日	月	火	水	木	金	土
日	月	火	水	木	金	土
日	月	火	水	木	金	土
日	月	火	水	木	金	土
日	月	火	水	木	金	土
日	月	火	水	木	金	土



注記:

最低限必要な曜日以外にも、他の曜日を「徹底クリーニング」と「洗浄」に追加することが可能です。



自動水洗:

ディスペンサーの構成によっては、自動(高温または低温)で水洗が行われます。これは変更できません。水洗の回数や量はディスペンサーの構成およびプリセットによって異なります。

自動水洗が行われる直前や水洗中には、ビープ音を伴う警告マークが画面に表示されます。

ドリンクのカウンター/統計データ

(メニュー 4)

統計データを表示する

- メニュー 4 > 4.2 > 4.2.1 をタッチします。

ドリンクカウンター画面に表示される項目は次の通りです。

- 各ドリンクの抽出回数
- 最終抽出日時

統計データをリセットする

- メニュー 4 > 4.2 > 4.2.2 をタッチします。

カウンターのリセット方法は次の通りです。

- [リセットする] ボタンをタッチすると、そのドリンクに関するカウンターの数値をゼロにします。

会計情報を表示する

会計情報の表示機能については、章「7. 支払いシステム」を参照してください。

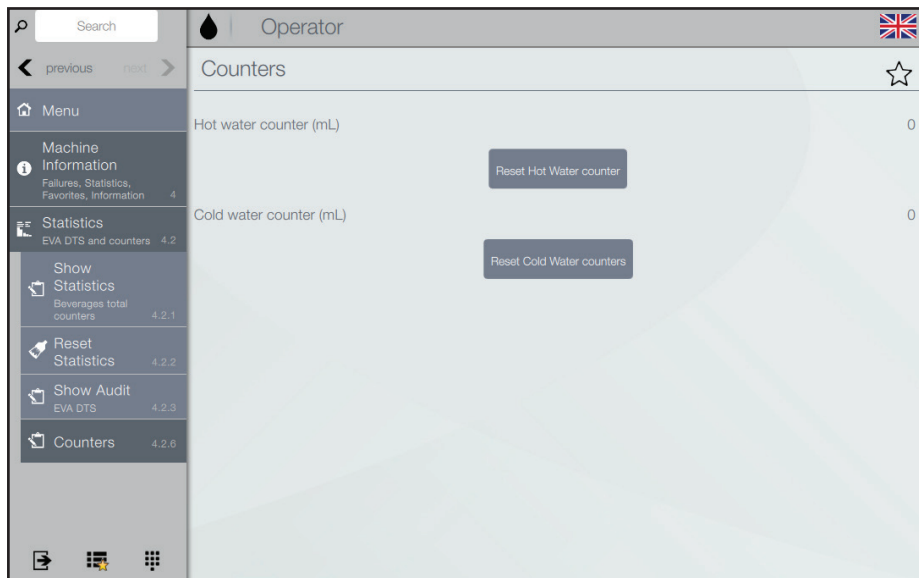


図6.14 - 合計水量カウンター

合計水量カウンター

- メニュー 4 > 4.2 > 4.2.6 をタッチします。
- [前へ] をタッチすると、変更なしでメニューを閉じます。
- [熱湯カウンターをリセットする] をタッチすると、熱湯カウンターをゼロにリセットします (図 6.14)。
- [冷水カウンターをリセットする] をタッチすると、冷水カウンターをゼロにリセットします。

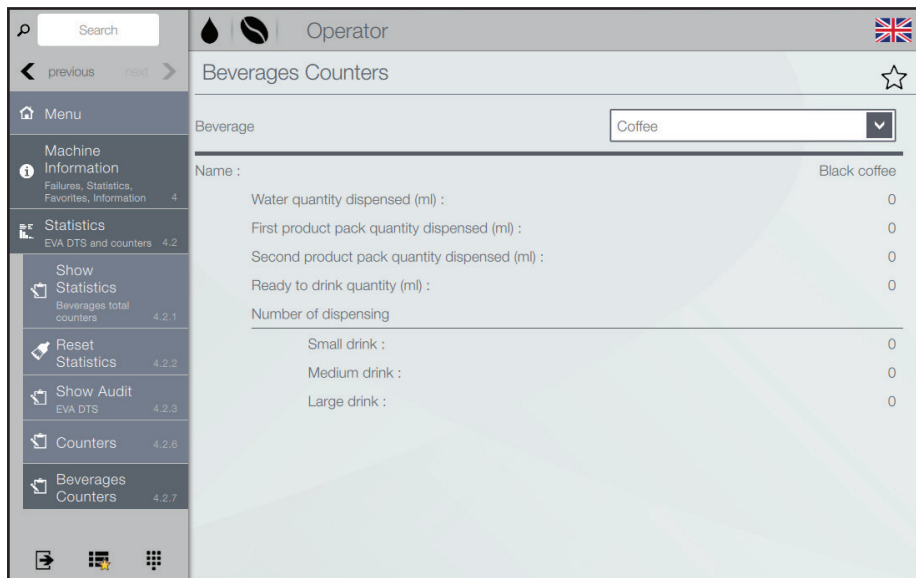


図6.15 - ドリンクカウンター

ドリンクカウンター

- メニュー 4 > 4.2 > 4.2.7 をタッチします。
- ドリンクのプルダウンメニューをタッチして、希望するドリンクを選択します(図 6.15)。

選んだドリンクの使用可能な水の量と材料と入れることのできるドリンクの量が表示されます。
抽出可能なドリンクのサイズ (SとMとL) の数量が表示されます。

オペレーター情報

- メニュー 4 > 4.6 をタッチします。

この機能では、オペレーターの連絡先情報 (名前と電話番号) を入力することができます。
一定のエラーが発生すると表示されます。

これらの情報が表示される条件、つまりマシンがエラーによって機能停止になった場合やマシンが機能停止になっていないけどエラーが発生した場合に表示されるかを選ぶことができます。

省エネ (メニュー 5)

この省エネ機能では、マシンの省エネ機能を有効にしたり、時間帯を設定したり、変更したりすることができます。

設定

- メニュー 5 > 5.1 をタッチします。

省エネ機能を有効/無効にします。

このマシンでは複数の省エネモードを管理することができます。

それぞれの省エネモードには、変更可能なパラメータが含まれています。

- 「ソフトモード」

マシンを使用しないで一定時間が経過

したら省エネモードに入ります。

ドリンクが選択されると、この省エネモードは無効になります。

次の設定が可能です。

- 省エネモードを有効にしたマシンが省エネモードに入るまでの未使用時間 (分)

- 省エネモードでのボイラーの最低温度
- タッチスクリーンの明るさ (通常、暗め、オフ)

- 「しっかりモード」

設定した時間帯に省エネモードを起動させることができます。

設定した時間帯、ボイラーの温度は調整した省エネ温度まで低下します。

次の設定が可能です。

- 省エネモードでのボイラーの最低温度
- 設定した時間帯の終了時からどれくらい前にボイラーの加熱を開始するかを示す時間 (例えば、5 分に設定すると、省エネモード時間帯の終了時刻 5 分前にボイラーが運転温度になるまで加熱をスタートします)。
- タッチスクリーンの明るさ (通常、暗め、オフ)



注記:

コールドドリンク用に設定されていないディスペンサーでは、「ディープモード」は選択できません。

省エネの時間帯

- ・メニュー 5 > 5.2 をタッチします。
- 省エネモードの時間帯設定 (図 6.16)
- ・時間帯を設定したい曜日をタッチします。
 - ・[イベント追加] をタッチします。
 - ・時間帯を有効にするモード (通常/ソフト/しっかり) をタッチします。
 - ・必要に応じて、希望する設定時間帯をドラッグして調整します。設定単位は 15 分です。
 - ・必要な時間帯をすべて追加します。

時間帯の削除

- ・[イベント削除] をタッチします。
- ・削除したい時間帯をタッチします。

時間帯のコピー

週ごと、または日ごとに設定した時間帯をコピーすることができます。

- ・[時間帯をコピーする] をタッチしたら
 - ・[すべての曜日に時間帯を貼り付ける] をタッチします。
- または
- ・希望する曜日をタッチします。
 - ・[時間帯を貼り付ける] をタッチします。

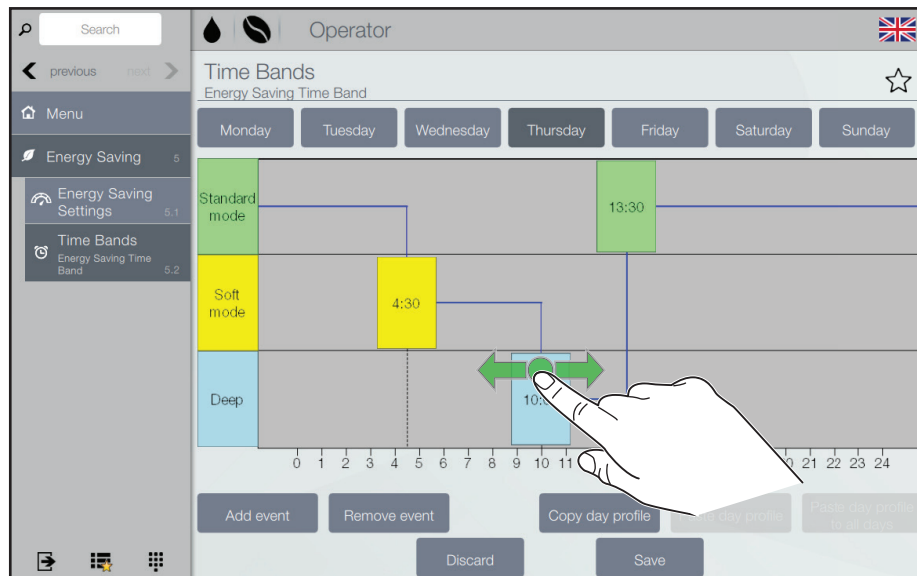


図6.16 - 省エネ時間帯

時間帯の保存

- ・[保存する] をタッチします。

支払いシステム (メニュー 6)

支払いシステムに関する機能と説明と管理に関しては、章「7. 支払いシステム」を参照してください。

システム (メニュー 8)

日時の設定

- メニュー 8 > 8.3 をタッチします。

日時設定の調整

- 日にちや時間のアイコン  をタッチします。
- テンキーと数値選択 (24ページを参照) を使って、正しい数値を設定します。
- [保存] をタッチして、修正値を保存します。
または
[キャンセル] をタッチして、保存前の機能を保持します。

言語設定

- メニュー 8 > 8.4 をタッチします。

言語の設定

- 希望する国をメニュー内の関連する位置にドラッグします。
- [保存] をタッチして、修正値を保存します。
または
[キャンセル] をタッチして、保存前の機能を保持します。

情報

- メニュー 8 > 8.9 をタッチします。

マシンのソフトウェアに関するすべての情報 (バージョン、使用テーマ、設定など) を表示することができます。

7 - 支払いシステム

はじめに

この章では、マシン Excellence-Touch に使用されている支払いユニットの操作と機能について記載します。

設定の変更や硬貨の管理が許可されているオペレーターは、本章をしっかりと読み、支払い操作をしっかりと理解してください。

この支払いユニットは、Excellence-Touch シリーズマシンのために設計されています。次のシステムが用意されています。

- 両替機
- 紙幣読み取り装置

この支払いユニットは、マシンの右側にあって個別に仕切られた場所に設置されています。

マシンのドリンク販売に使用この支払いユニットを使用します。

さらに、この支払ユニットでは、時間帯に応じて価格や無料販売などを設定することが可能です。

さまざまな支払い機能

レジ機能 (メニュー 1.3)



注記:

この機能は、両替支払いシステムを搭載したモデルにのみ有効です。

- メニュー 1 > 1.3 をタッチします。

この機能の特徴は次の通りです。

- コインチューブを空にすることが可能です
- レジ機能により硬貨の補充が可能です
- コインメック内にある合計金額の確認が可能です

会計情報の表示 (メニュー 4.2.3)

- メニュー 4 > 4.2 > 4.2.3 をタッチします。

各製品に、支払い回数合計とドリンクカウンターを最後にリセットしてからどれだけのドリンクが販売されたか(統計データ)を表示させることができます。

この会計情報で表示できる項目は次の通りです。

- 有料販売抽出数
- 無料販売抽出数
- 試験販売抽出数
- レジ会計情報
- 材料

価格 (メニュー 6)

通貨マーク

- メニュー 6 > 6.2 > 6.2.1 をタッチします。
- クレジットを表示する際の通貨を設定します。

ドリンクのグローバル価格

デフォルト設定では、すべてのドリンクに共通の価格が設定されています (グローバル価格)。

- メニュー 6 > 6.2 > 6.2.2 をタッチします。
- すべてのドリンク価格を同時に変更します。

ドリンク価格

各ドリンクにグローバル価格とは異なる金額を設定することができます。

- メニュー 6 > 6.2 > 6.2.3 をタッチします。
- 対象となるドリンクを選択して、価格を変更します。

無料販売コード

- メニュー 6 > 6.2 > 6.2.4 をタッチします。
- 無料販売コードを有効にしたり、無効にしたり、変更したりします (図 7.1)。

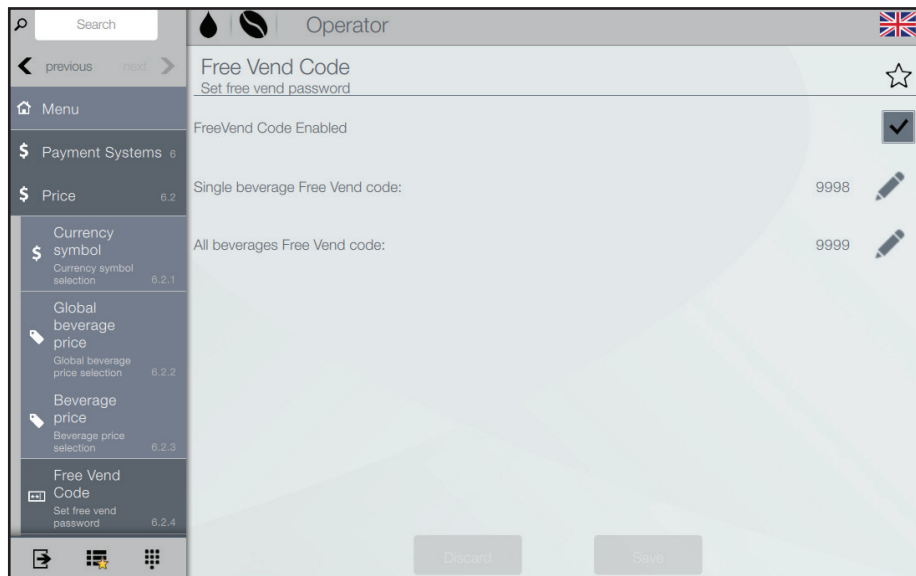


図7.1 - 無料販売コード

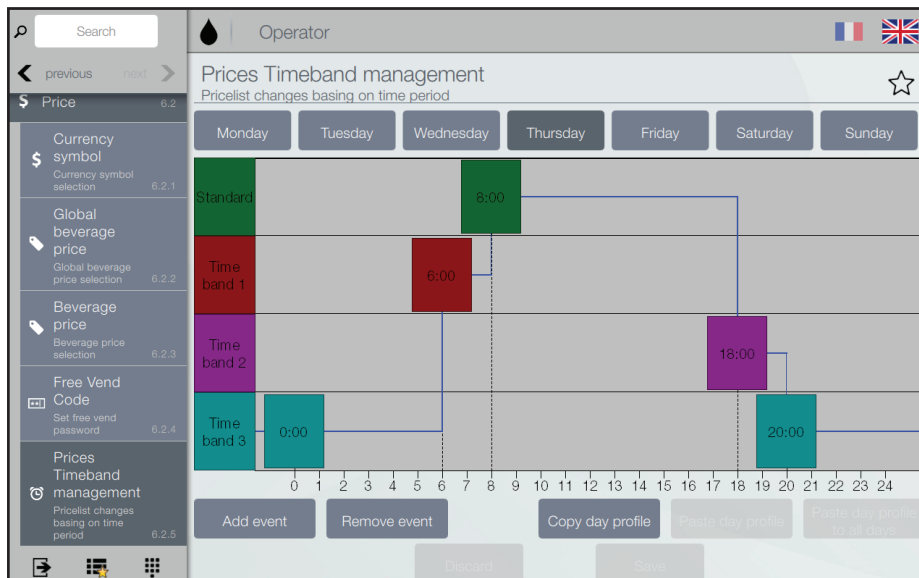


図7.2 - 時間帯価格の管理

時間帯価格の管理

- メニュー 6 > 6.2 > 6.2.5 をタッチします。

価格の時間帯設定 (図 7.2)

- 時間帯を設定したい曜日をタッチします。
- [イベント追加] をタッチします。
- 時間帯を有効にするため、モード (標準/時間帯1、2、3) をタッチします。
- 必要に応じて、希望する設定時間帯をドラッグして調整します。設定単位は 15 分です。
- 必要な時間帯をすべて追加します。

時間帯の削除

- [イベント削除] をタッチします。
- 削除したい時間帯をタッチします。

時間帯のコピー

週ごと、または日ごとに設定した時間帯をコピーすることができます。

- [時間帯をコピーする] をタッチしたら
 - [すべての曜日に時間帯を貼り付ける] をタッチします。
- または
 - 希望する曜日をタッチします。
 - [時間帯を貼り付ける] をタッチします。

時間帯の保存

- [保存する] をタッチします。

支払いシステムの通信プロトコル(メニュー 7)

使用可能な支払いシステムの以下のプロトコルを設定したり、その運転を管理したりすることが可能です。

複数の支払いシステムに共通するパラメータの中には、システムのタイプが変わっても設定された数値が保持されるものがあります。

貨幣識別機

即時計上 (デフォルト設定: 無効)

通常、選ばれたアイテムの金額は、マシンが「選択完了」の信号を送信した後に計上されます。

しかし、この機能を有効にすると、計上を促す信号は抽出前に送信されます。
このパラメータの設定は必ず行ってください。

小数点の位置

小数点の位置を設定します。

0 - 小数点なし

1 - XXX.X (小数点第一位)

2 - XX.XX (小数点第二位)

3 - X.XXX (小数点第三位)

待機時間 (デフォルト設定: 7 秒)

現金払いの場合、選んだドリンクを抽出するのに必要なクレジット残高を表示する時間を設定することができます。

ライン/値の関連付け

「プログラミング」メニューの「ライン/値の関連付け」(ラインプログラミング) 機能に画面が配置されている場合、貨幣識別機の A から F までの 6 つのコインラインの値を変更することが可能です。

クレジットプログラミング (過払い)

以下のことを決定することができます。

- 指定した一定の時間 (秒単位) が経過した時に、選んだドリンクの金額を超えるクレジットを計上する (パラメータ [000 キャンセル])
- 次のドリンクを選ぶため、選んだドリンクの金額を超えるクレジットをそのままに残す (パラメータ [保持])

エグゼクティブ

コインメック

このエグゼクティブシステムで選ぶことのできる支払いシステムは次の通りです。

- 標準
- 価格保持
- UKEY (価格保持価格表示)

即時計上 (デフォルト設定: 無効)

通常、選ばれたドリンクの金額は、マシンが「選択完了」の信号を送信した後に計上されます。

しかし、この機能を有効にすると、計上を促す信号は抽出前に送信されます。
このパラメータの設定は必ず行ってください。

待機時間 (デフォルト設定: 7 秒)

現金払いの場合、選んだドリンクを抽出するのに必要なクレジットを表示する時間を設定することができます。

BDV:

即時計上 (デフォルト設定:無効)

通常、選ばれたドリンクの金額は、マシンが「選択完了」の信号を送信した後に計上されます。

この機能を有効にすると、計上を促す信号は抽出開始前に送信されます。
このパラメータの設定は必ず行ってください。

待機時間 (デフォルト設定: 7 秒)

現金払いの場合、選んだドリンクを抽出するのに必要なクレジット残高を表示する時間を設定することができます。

抽出タイプ

複数もしくは個別で抽出する際の機能モードを設定します。複数の抽出を実行されると、抽出が完了しても自動的に釣り銭が返却されず、クレジットは残り、次の抽出待ちの状態になります。残っているクレジット額が内部に残っている釣り銭額よりも低い場合、返却ボタンを押すと全額返却されます。

クレジット返却 (エスクローレバー)

ドリンクが抽出されなかった場合、釣り銭返却ボタンを押すことで、クレジットを返却するか、しないかを決定することができます。

この機能を有効にすると、たとえドリンクが一度も抽出されなかったとしても、貨幣は返却されます。

何かの理由でドリンクの抽出に失敗した場合、釣り銭が返却されます。

最高クレジット額

受け入れ可能な硬貨投入最高クレジット額を決定することができます。

釣り銭最高額

返却ボタンが押された後もしくは1杯のドリンク抽出終了後にコインメックが返却する釣り銭の合計額に、上限を設定することができます。

プログラミングされた額を超えたクレジット分については、この機能ではそのまま計上されます。

受け入れ可能貨幣

貨幣識別機が認識する硬貨を決定することができます。

硬貨と価値を一致させるため、コインメックにある硬貨の位置を表示するラベルを確認する必要があります。

釣り銭として受け入れ可能な硬貨

「釣り銭なし」モードの際、受け入れを拒否する硬貨をプログラミングすることができます。

硬貨と価値を一致させるため、コインメックにある硬貨の位置を表示するラベルを確認する必要があります。

正確な釣り銭計算機能

ここでは、コインメックを「つり銭なし」モードに設定するための空のつり銭チューブの組み合わせを定義します。可能な空の釣り銭チューブの組み合わせは以下の通りです。簡略化のため、ここでは釣り銭チューブ A と B と C の組み合わせを説明します。この釣り銭チューブ A が最も小さい額の硬貨を受け取り、釣り銭チューブ C が最も大きい額の硬貨を受け取るものとします。

0 = A または (B と C)

1 = A と B と C

2 = A と B のみ

3 = A と (B または C)

4 = A のみ

5 = A または B のみ (デフォルト設定)

6 = A または B または C

7 = A または B のみ

8 = A または C のみ

9 = B と C のみ

10 = B のみ

11 = B または C のみ

12 = C のみ

取り出しボタン

コインメックにある、釣り銭チューブ内にある硬貨を取り出すためのボタンの有効と無効を切り替えます。

C.P.C. ユニット

直列接続によって周辺機器が取り付けられているか、取り外されているかをコインメックに知らせます (C.P.C. タイプの周辺機器 - デフォルト設定の検証ユニットは常に有効です)。

正確な釣り銭返却 (釣り銭最小レベル)

各釣り銭チューブがいっぱいになっているかを把握するため、プログラミングされた硬貨に 0 から 15 までの硬貨の枚数を加えることで、ユーザーに事前に「正しい硬貨を投入」するように促すことができます。

VMC 無料販売

多くの BDV プロトコルによる支払いでは、無料販売機能が備えられています。ただし、この機能を持たない支払いシステムもあります。

この場合、フリー販売機能 VMC (vending machine control) の略 デフォルト設定: 無効) を有効にして、いずれかのドリンクの無料での抽出を可能にするにはドリンク価格をゼロに設定する必要があります。

MDB

即時計上 (デフォルト設定:無効)

通常、選ばれたドリンクの金額は、マシンが「選択完了」の信号を送信した後に計上されます。

この機能を有効にすると、計上を促す信号は抽出開始前に送信されます。
このパラメータの設定は必ず行ってください。

小数点の位置

小数点の位置を設定します。

0 - 小数点なし

1 - XXX.X (小数点第一位)

2 - XX.XX (小数点第二位)

3 - X.XXX (小数点第三位)

待機時間 (デフォルト設定: 7 秒)

選んだドリンクを抽出するのに必要なクレジットを表示する時間を設定することができます。

抽出タイプ

複数もしくは個別で抽出する際の機能モードを設定します。複数の抽出を実行されると、抽出が完了しても自動的に釣り銭が返却されず、クレジットは残り、次の抽出待ちの状態になります。硬貨返却ボタン (機能が有効の場合) を押すと、残っているクレジットが最大釣り銭額まで返却されます。

購入の強要

ドリンクを抽出する前の釣り銭返却ボタンの機能のオンとオフを切り替えます。

- ・ オン: ドリンクが選択された後にのみ釣り銭が返却されます。
- ・ オフ: 釣り銭返却ボタンを押すとすぐに投入額が返却されます (この場合、マシンは両替機として機能します)。

最高クレジット額

受け入れ可能な硬貨投入最高クレジット額を決定することができます。

釣り銭最高額

返却ボタンが押された後もしくは1杯のドリンク抽出終了後にコインメックが返却する釣り銭の合計額に、上限を設定することができます。

プログラミングされた額を超えたクレジット分については、この機能ではそのまま計上されます。

受け入れ可能貨幣

コインチューブがいっぱいになった時に貨幣識別機が認識する硬貨を決定することができます。

硬貨と価値を一致させるため、コインメックの設定を確認する必要があります。

返却硬貨

釣り銭を出す際に、チューブにあるどの硬貨を使用するかを決定することができます。この設定は、チューブ自動選択機能 (Auto changer payout) を持たないコインメックを使っている場合にのみ有効です。

硬貨と価値を一致させるため、コインメックの設定を確認する必要があります。

受け入れ可能紙幣

読み取り装置が認識する紙幣を決定することができます。

紙幣と価値を一致させるため、読み取り装置の設定を確認する必要があります。

釣り銭なし時の受け入れ可能な貨幣

本マシンが「釣り銭なし」モードにある時に、貨幣識別装置が認識する硬貨の中でどれを受け入れるかを決定することができます。

硬貨と価値を一致させるため、コインメックの設定を確認する必要があります。

釣り銭なし時の受け入れ可能な紙幣

本マシンが「釣り銭なし」モードにある時に、読み取り装置が認識する紙幣の中でどれを受け入れるかを決定することができます。

紙幣と価値を一致させるため、読み取り装置の設定を確認する必要があります。

クレジットキー非表示機能

ユーザーのプライバシー保護のため、この機能に出来ることは次の通りです。

キャッシュレスシステムに残っているクレジット額を [----] に置き換えて表示することが可能です。

クレジット残金機能

一定時間が経過すると、選んだドリンクの代金を超えるクレジットを入金する(後でキャンセル)かユーザーが使用できる状態に保持する(保持)か決定することができます。

キャッシュ販売コマンド機能

この機能では、現金による取引をキャッシュレスシステムで行われたかのようにすることができます。

各値の意味は次の通りです。

- 0 標準取引:現金による取引がそのままの形で記録されます
- 1 キャッシュレスシステム 1 による強制取引:現金による取引を第一キャッシュレスシステムによって実行された取引として記録されます。
- 2 キャッシュレスシステム 2 による強制取引:現金による取引を第二キャッシュレスシステムによって実行された取引として記録されます。

パラレル装置機能

この機能を使用すると、キーをチャージするための貨幣識別装置またはパラレル紙幣読み取り装置を使用することができます。

正確な釣り銭計算機能

マシンによるドリンク抽出が完了した時に正しい釣り銭を返却するため、異なる 15 のアルゴリズムによってこれを可能にします。

アルゴリズムそれぞれが、釣り銭を返却する際にコインメックが使用するチューブの条件(チューブ内のコイン枚数や空っぽか満杯の状態)を確認します。

選ばれたアルゴリズムに連結されているチューブ内が最低貨幣枚数に達すると「釣り銭がありません」状態となります。

(パラメータ [釣り銭最小レベル])

簡略化のため、ここでは釣り銭チューブ A と B と C と D の組み合わせを説明します。この釣り銭チューブ A が最も小さい額の硬貨を受け取り、釣り銭チューブ D が最も大きい額の硬貨を受け取るものとします。

0 = A または B または C または D

1 = A または B

2 = C または D

3 = A または D

4 = A のみ

5 = B のみ

6 = C のみ

7 = A と D

8 = C と D

9 = A と B

10 = A と B と C と D

11 = AとCまたはAとD
12 = AのみまたはCとD
13 = Dのみ
14 = AとBとC

例えば、演算法 10 では、4本すべてのチューブが最小レベルになっている場合、メッセージ「釣り銭がありません」が表示されます。

演算法 4 では、チューブ A (最も小さい額の硬貨) が最小レベルになった時にのみ、メッセージ「釣り銭がありません」が表示されます。

キャッシュレスキークレジット制限機能

この機能では、システムが受け入れることのできるキャッシュレスキー/カードが持つクレジットの上限を設定することができます。キーにこれを超えるクレジットがある場合は拒否されます。この設定値は、[最大チャージクレジット] 機能に設定した数値と同じまたはそれ以上でなければなりません。

この設定値は、[最大チャージクレジット] 機能に設定した数値と同じまたはそれ以上でなければなりません。この設定値を変更し、それ以下にした場合、自動的に [最大チャージクレジット] 値が設定されます。

キャッシュレスキーチャージ制限機能

1 つのキーまたはカードシステムにチャージすることのできるクレジット最高額を設定することができます。

釣り銭最小レベル機能

0 から 15 の貨幣の数を設定して、チューブの完全な状態を判断し、ユーザーに「ぴったりの額を投入する」ように警告することができます。

紙幣読み取り装置機能

キャッシュレスシステム (キーまたはカード) にクレジットをチャージする特にのみ、紙幣読み取り装置を有効にすることができます。

未定義クレジット機能

キャッシュレスシステムのクレジットが定義されていない場合のキャッシュレス支払いシステム (キーまたはカード) を受け入れたリ、拒否したりすることができます。

ユーザーグループ機能

これは、ユーザーグループ (1 から 5) に価格リスト (リスト 1 とリスト 2 とリスト 3) をリンクさせる時に使用する機能です。デフォルト設定では、すべてのユーザーグループは共通のリストにリンクされています。

8 - トラブルシューティング

表示メッセージ	原因	解決方法
	製品パッケージが次のいずれかです。 1. 空っぽ 2. 正しくセットされていない 3. またはセットされていない	1. 製品パッケージを交換してください (12ページを参照)。 2. 製品パッケージが正しくセットされているか確認してください (12ページを参照)。 3. 製品パッケージセットしてください。 画面に番号が表示される場合は、オペレーターに連絡してください。
	ボイラー内の水が指定温度に達していません。	• 正しい温度になるまで、ドリンクの抽出はブロックされます。
	マシンのクリーニングが必要です。	• この日のうちにクリーニングプログラムを起動させてください (20ページを参照)。 画面に番号が表示される場合は、オペレーターに連絡してください。
 ドリンクマークがグレー表示	マシンがプログラミング通りにクリーニングされなかったため、ドリンク抽出がブロックされました。	• 今すぐクリーニングプログラムを起動させてください (20ページを参照)。 画面に番号が表示される場合は、オペレーターに連絡してください。
	マシンの水フィルターの交換が必要です。	• 水フィルター交換のため、アシスタントサービスにご連絡ください。

表示メッセージ	原因	解決方法
Err 10	ボイラーのセキュリティエラー	- 熱湯の温度が高すぎる場合やボイラーから水漏れする場合は、サーモプロテクターを点検してください。 - オプションキット Marine Easy overflow が備えられている場合、オペレーターがリセットすることが可能です。それでもエラーが解消されない場合は、アシスタントサービスにご連絡ください。
Err 17/18/19	水道エラー	- マシンへの給水がブロックされていないか確認してください。蛇口をしっかりと開いてください。 - プログラミングホームメニュー内の [現在の故障リスト] をタッチしてから、アイコン [故障リセット] をタッチしてください。それでもエラーが解消されない場合は、アシスタントサービスにご連絡ください。
Err 30/31	冷却エラー	- マシンの換気と環境温度を確認してください。必要に応じて、コンデンサの汚れを取り除いてください。 - プログラミングホームメニュー内の [現在の故障リスト] をタッチしてから、アイコン [故障リセット] をタッチしてください。それでもエラーが解消されない場合は、アシスタントサービスにご連絡ください。
Err 60/61/63	調合ボウルが検出されません	両方の調合ボウルが正しくセットされているか確認してください。それでもエラーが解消されない場合は、アシスタントサービスにご連絡ください。
Err 65	ドリフトトレイがありません	ドリフトトレイが正しい位置にあることを確認します。エラーが解消されない場合はサービスにお問い合わせください。
Err 75	ディスペンサーのクリーンショットエラー	マシンで再度クリーンショットを実行しようとしています。マシンがクリーンショットを行うのに適切な状態であること (ドリフトトレイが正しい位置にあることなど) を確認してください。

表示メッセージ	原因	解決方法
熱湯抽出口またはドリンク抽出口から水が漏れる	石灰がバルブに詰まっているため、完全に閉じることができません	今すぐ「洗浄」プログラムを起動させてください (21ページを参照)。それでも問題が解消されない場合は、アシスタントサービスにご連絡ください。
画面をタッチしてもマシンが反応しない	ソフトウェアがブロックしています。	マシンの再起動が必要です。電源を切り、5秒経ってから繋げ直してください。それでも問題が解消されない場合は、アシスタントサービスにご連絡ください。

9 - 仕様

バージョン*

ミルクとコーヒー

コーヒーとコーヒー

寸法

高さ	ドアが閉まっている状態: 692 mm / 27.24 in (ドアが開いている状態: 920 mm / 36.2 in)
幅	380 mm / 14.96 in
奥行	524 mm / 20.63 in

重量

空っぽ時	38.5 kg / 86 lbs
充满時	49 kg / 108 lbs

カップ/ポットの最大高さ

カップ:	157 mm / 6.2 in
ポット:	157 mm / 6.2 in (ドリップトレイ使用時) 207 mm / 8.2 in (ドリップトレイなし、または オプション のポットエクステンション使用時)

材料容量

次の容量の使い捨てボックスインボックス (BIB) 入り材料パッケージ 2本
2 L / 0.53 gal (コーヒーとミルク) または
1.25 L / 0.33 gal (コーヒー) または
0.75 L / 0.20 gal (ミルク)

ドリンク容量

3.3 kW (230V) で 1時間に 100 ml / 3.3 fl.oz. のカップ 300 杯

ボイラー

6 L / 1.58 gal

標準水道接続口	1/2"または 3/8"の給水管と 3/4"のBSP継手 ストップバルブ付き飲料水用配管 給水最高温度 60°C / 140° F								
動圧	10 L/分で最低 0.8 bar - 2.6 gal/分で 11 psi								
静圧	最高 10 bar - 140 psi								
熱湯接続	銅管のみ								
冷却水ユニット接続	動圧: 1.2 L/分で 0.8 bar - 0.7 gal/分で 11 psi								
冷却剤	R600a を 0.013 kg								
電気特性	- 電源プラグ付きコード 1.80 m / 70.9 in - 安全に関する指示に従い、電源への直接接続も可 接続負荷については、データプレートを参照してください。 <table> <tr> <td>単相運転時 (ヨーロッパ) :</td><td>230-240 VAC (16A) で最大 3.3 kW</td></tr> <tr> <td>三相運転時 (ヨーロッパ) :</td><td>400 VAC (3x16A) で最大 8.9 kW</td></tr> <tr> <td>単相運転時 (北米) :</td><td>120 VAC (20A) で最大 1.4 kW</td></tr> <tr> <td>二相運転時 (北米) :</td><td>120/240 VAC (50A) で最大 9.0 kW</td></tr> </table>	単相運転時 (ヨーロッパ) :	230-240 VAC (16A) で最大 3.3 kW	三相運転時 (ヨーロッパ) :	400 VAC (3x16A) で最大 8.9 kW	単相運転時 (北米) :	120 VAC (20A) で最大 1.4 kW	二相運転時 (北米) :	120/240 VAC (50A) で最大 9.0 kW
単相運転時 (ヨーロッパ) :	230-240 VAC (16A) で最大 3.3 kW								
三相運転時 (ヨーロッパ) :	400 VAC (3x16A) で最大 8.9 kW								
単相運転時 (北米) :	120 VAC (20A) で最大 1.4 kW								
二相運転時 (北米) :	120/240 VAC (50A) で最大 9.0 kW								
環境仕様									
アコースティック・エミッション	A特性連続音圧レベルは、48 dB 未満です。								
据付けおよび運転 環境温度	5°C / 41° F と 32°C / 90° F の間								
適合規格	UL, CE (機械指令 2006/42/EC、EMC指令 2004/108/EC、食品の安全に関する指令 2002/72/CE) IEC 60335 , IEC 60079 NSF(Marine バージョンのみ)								

付録 A - 世界の電源プラグリスト

国	プラグタイプ	製造元/商標	形式/モデル	テクニカルデータ	標準規格	適合マーク
英国	タイプ G	Patelec Elpena社/ Ningbo社	MUK	3G0.75/1/1.5	BS 1363-1	BSI/HAR
日本	タイプ B	Patelec社/Ningbo社	42	3x0.75/1.25/2	JIS C8303 JIS C8306	PSE/JET
オーストラリア	タイプ I	Patelec Elpena社/ Ningbo社	161-165	3G0.75/1/1.5	AS/NZS 3112	NSW GOVERNMENT
韓国	タイプ C	Patelec社/Ningbo社	152 KOREA	2x0.75/1/1.5	K60884-1 KSC 8305	Korea Testing laboratory
	タイプ F	Patelec社/Ningbo社	232 KOREA	3G0.75/1/1.5	K60884-1 KSC 8305	Korea Testing laboratory
シンガポール	タイプ G	Patelec社/Ningbo社	MUK	3G0.75/1/1.5	SS 145:part 1:2010	COC
サウジアラビア	タイプ G	Patelec社/Ningbo社	MUK	3G0.75/1/1.5	BD14004	GULF TYPE EXAMINATION CERTIFICATE
南アフリカ	タイプ M	Patelec Elpena社	507	3G0.75/1/1.5	SANS 164-1	SABS
UAE	タイプ G	Patelec社/Ningbo社	MUK	3G0.75/1/1.5	BD14004	GULF TYPE EXAMINATION CERTIFICATE
カタール	タイプ G	Patelec社/Ningbo社	MUK	3G0.75/1/1.5	BD14004	GULF TYPE EXAMINATION CERTIFICATE
ロシア	タイプ C					
	タイプ F					
エジプト	タイプ C					
	タイプ F					
タイ	タイプ A					
	タイプ B					
	タイプ C					
	タイプ F					